

S	空間演出デザイン概論 スターター	科目コード： 74100
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	なし ※受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ★★★★★★ 2017年度からの新規科目です（2016年度までのテキスト科目「74612 空間演出デザイン概論」とは履修形態、授業内容が異なります）。 どなたでも受講できますが新入生向けの導入科目となりますのでシラバスの内容をご確認のうえ受講申込みをしてください。 ★★★★★★	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザイン概論(スターター)K 開催日程：2019年5月18日（土）～ 2019年5月19日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員： なし 空間演出デザイン概論(スターター)T 開催日程：2019年5月25日（土）～ 2019年5月26日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員： なし	
担当者	川合健太*、上田篤 、他（京都・東京）	

科目概要と到達目標

空間演出デザインコースの専門教育テキスト科目の進め方について解説と演習を行うガイダンス授業です。製図や模型製作で使用する各種道具の使用方法を知り、演習課題を通して平面的思考、立体的思考を理解しながら、表現力の基礎を養います。空間演出デザインという領域横断的デザインについて理解を深め卒業を目指す決意を得ることを到達目標とします。

大学での学びのスタートダッシュを支援する内容ですから、是非とも受講して欲しい授業です。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題の理解度
4. 道具を使った表現
5. 完成度

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は今後につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『図形ドリル』
参考文献・URL	なし

課題

●課題名

「空間演出デザイン徹底基礎演習」

●内容

誰もが最初に取り組む1年次テキスト科目のガイダンスや制作体験を行い、デザインにおいて大切な表現力を養いながら、課題に触れることで空間演出デザインコースでの学び方を学びます。加えて、空間演出デザインの可能性を考える講義を受講し、卒業を目指した履修計画の確認を行います。

授業は二次元（平面）と三次元（立体）、それぞれの演習課題に実際に取り組めます。二次元のレッスンとしては、平面的なデザインの基礎演習として、図面表現の基礎（線の種類、用途、引き方など）、平面構成の基礎、レイアウトデザインなどについて、各自の製図道具の使い方を交えながら平面的思考法や表現法を学びます。三次元のレッスンとしては、立体的なデザインの基礎演習として、立体構想や模型制作の基礎（材料、組み立て方、模型の種類）に関する課題に取り組む立体的思考法や表現法を学びます。

両日を通して、課題制作におけるパソコンの活用法についてもレクチャーします。

●制作条件

- ・airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・製図道具や模型制作道具を使用した演習に取り組めます。コースガイドpp.28～29に掲載された【1】製図道具一式、【2】模型制作道具一式を持参してください。
- ・ノート型パソコンを購入済みの方は、セットアップ状態のチェックを行いますので、可能であればソフトウェアをインストールした上で持参してください。

●最終成果物

- ・演習課題各種

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 ガイダンス、事前課題の確認
- 2講時 二次元デザイン演習1
- 3講時 二次元デザイン演習2
- 4講時 フィールドワーク演習1
- 5講時 フィールドワーク演習2

●2日目

- 1講時 三次元デザイン演習1
- 2講時 三次元デザイン演習2
- 3講時 デザインリサーチ演習1

受講にあたって

●持参物

□各自必ず持参

- 1 『コースガイド』
- 2 『図形ドリル』
- 3 事前課題（原寸で印刷したもの）
- 4 製図道具一式
- 5 模型制作用道具一式
- 6 スケッチブック
- 7 コンベックス（巻尺）

□各自可能な限り持参

- 1 ノート型パソコン（ACアダプター、マウス等の周辺機器を含む）
- 2 学内LAN利用アカウント（PC持参の場合）*1
- 3 作品データを保存する為のメディア（USBメモリなど）
- 4 平行定規（A2サイズ）※1日目のみ
- 5 デジタルカメラ（SDカードもしくはmicroSDカード対応のもの）
- 6 1年次TW科目のシラバスを出力したもの（4科目分）

※スマートフォンなどのカメラ付携帯端末でmicroSDカード対応のものは可

※データを読み込み可能なカードリーダーを持参する場合はその他の形式のカメラも可

□コース貸出・支給

- 1 カッティングマット
- 2 スプレーのり
- 3 T定規
- 4 製図板

*1) 「学内LAN利用アカウント」は入学許可後に入学生全員に郵送されています。『学習ガイド』p.91を参照してください。

注意事項

●持参するノート型パソコンについて

このスクーリングではノート型パソコンの持参は必須ではありませんが、授業の前後でセットアップ状況の質問を受け付けますので積極的に持参することを推奨します。持参する場合は、コースガイドpp. 26～27及びairUキャンパス>コースサイトを参照し、用意したノート型パソコンにコースで初年度に使用するソフトウェア(AutoCAD LT、Adobe Creative Cloud)をインストールした上で持参するようにしてください。

S	空間演出デザインⅠ－1 デザインリテラシー	科目コード： 74101
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	※受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインⅠ－1(デザインリテラシー)K 開催日程：2019年6月1日（土）～ 2019年6月2日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：なし 空間演出デザインⅠ－1(デザインリテラシー)T 開催日程：2019年6月8日（土）～ 2019年6月9日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：なし	
担当者	上田篤*、川合健太、他（京都、東京）	

科目概要と到達目標

空間演出デザインにおけるイメージ拡張のための基礎的なデザインの方法論、手法を学びます。デザインには必ずデザイナーの意図があり、そのどれもが明確な理由に基づき論理的に構成されています。それらデザインの源泉となっている構成要素、歴史的な系譜、背景や理由を理解することで、より実践的なデザインの方法論、手法を習得することを目的とします。また、自らの身体の拡張としての空間把握に不可欠となる縮尺や寸法の概念を理解し、その後、自らが導いたデザインの構成要素(キーワード)を手掛かりとして、様々に展開する空間デザイン事例を整理分類し、今後の設計手法に役立てることを到達目標とします。

※デザイン基礎課程のField Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題の理解度
4. 道具を使った表現
5. 完成度

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『新しい建築の製図』、『インテリア計画の知識』
------	-------------------------

課題

●課題名

「空間演出デザインのABCを知るワークショップ」

●内容

我々の日常を取り囲む建築や空間、プロダクトなどのあらゆるデザインには意図があり、そのどれもが明確な理由に基づき論理的に構成されています。この課題では、そうしたデザインの存在意義(理由)について理解を深めます。演習はアナログとデジタルを交えたデザインワークを通して進めます。アナログ術として、身の回りのデザイン事例の構成要素、歴史的な系譜、背景や理由について実地調査や分析、記録(実測、スケッチ、文章、写真など)する方法を学び、デジタル術として、各自が持参したノート型パソコンのアプリケーション(Illustrator、Photoshop等)を用いて、デジタルツールによる表現について学びます。また、今後の設計やデザインに活用するために記録したデザイン事例を整理分類し、ドキュメントにまとめプレゼンテーションを行います。

●制作条件

- ・airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・ノート型パソコンにソフトウェア(Adobe Creative Cloud、AutoCAD LT、ZOOM)をインストールした上で持参してください。

●最終成果物

- ・アナログ作業によるドキュメントシート
- ・デジタル作業によるプレゼンテーションシート

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 ガイダンス、事前課題の確認
- 2講時 PCセットアップ
- 3講時 空間のデザインワークショップ1
- 4講時 空間のデザインワークショップ2
- 5講時 空間のデザインワークショップ3、合評会

●2日目

- 1講時 モノのデザインワークショップ1
- 2講時 モノのデザインワークショップ2、合評会
- 3講時 コトのデザインワークショップ1
- 4講時 コトのデザインワークショップ2、合評会
- 5講時 まとめ

受講にあたって

●持参物

☐各自必ず持参

- 1 事前課題 (原寸で印刷したもの)

- 2 製図道具一式 ※1日目に使用します。
 - 3 ノート型パソコン（ACアダプター、マウス等の周辺機器含む）
 - 4 作品データを保存する為のメディア（USBメモリなど）
 - 5 学内LAN利用アカウント（『学習ガイド』p.91参照）
 - 6 スケッチブック
 - 7 コンベックス（巻尺）
 - 8 カッター（小）
 - 9 ステンレス定規（15cm、30cm）
 - 10 木工ボンド速乾（小）
 - 11 デジタルカメラもしくはカメラ付スマートフォン
- ※自身のパソコンにデータ読み込み可能なものに限る
※データを読み込みに必要なケーブルやカードリーダーは各自で持参すること

☐ コース貸出・支給

- 1 カッティングマット

注意事項

●持参するノート型パソコンについて

ソフトウェア（Adobe Creative Cloud）の機能について、教員デモンストレーションによる説明を一部行いますので、各自授業外に復習ができるように、コースガイドpp.26～27、及びairUキャンパス>コースサイトを参照し、用意したノート型パソコンにソフトウェア(Adobe Creative Cloud、AutoCAD LT、ZOOM)をインストールし、起動することを確認した上で持参するようにしてください。

S	空間演出デザインⅠ-2 ドラフティング	科目コード： 74102
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	※受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインⅠ-2(ドラフティング)K 開催日程：2019年6月15日（土）～ 2019年6月16日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：50 空間演出デザインⅠ-2(ドラフティング)T 開催日程：2019年6月22日（土）～ 2019年6月23日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：55	
担当者	向阪一郎（京都）、杉浦充（東京）、川合健太* 他	

科目概要と到達目標

建築や空間の設計において平面上の情報から空間を理解しその情報を平面上に表現する作図能力とその逆である図面読解力は不可欠です。小規模の建築図面を参照し、それを作図することで、設計製図の手順、表現の基礎技法を身に付け、実践的な作業の積み重ねとしての設計プロセスを学ぶ科目です。作図にあたってはJISにもとづく標準製図法に即した図面表記のルール・記号・図法を学びます。建築の仕組みや図面表現の理解、建築設計製図の基礎技法と設計プロセスに必要な手法の習得を到達目標とします。

※デザイン基礎課程のAtelier Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題の理解度
4. 道具を使った表現
5. 完成度

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『新しい建築の製図』
参考文献・URL	『木造・S造・RC造ディテール集』 エクスナレッジムック

課題

●課題名

「設計製図基礎」

●内容

建築や空間の設計において、空間を理解しその情報を平面上に表現する作図能力とその逆である図面読解力は不可欠です。事前課題にて基礎の確認後、比較的小規模の建築の図面を参照しながら手描きでトレースすることで設計製図の基礎力を養います。同時に数種類の縮尺で製図することで設計製図の手順や各構造の理解も深めます。様々な表現の基礎技法を学び、図面の理解とともに空間を考える方法を身に付けます。

●制作条件

- ・airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・トレースする図面は全体を縮尺1/100で作図し、部分的に縮尺1/50、縮尺1/10の詳細図を参照することで縮尺による表記の違いを理解します。
- ・スケッチパースに取り組み一点透視図法の基礎を知ること、アイデアスケッチに活かす方法を学びます。

●最終成果物

- ・トレース図面及びスケッチパース（A3サイズ）2枚

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 課題説明、製図の基本手順の説明
- 2講時 事前課題の確認、製図
- 3講時 製図（平面図、断面図、立面図）
- 4講時 製図（平面図、断面図、立面図）
- 5講時 製図（平面図、断面図、立面図）

●2日目

- 1講時 課題説明、パースの説明
- 2講時 製図（パース）
- 3講時 製図（パース）
- 4講時 製図（パース）
- 5講時 講評会

受講にあたって

●持参物

□各自必ず持参

- 1 事前課題（原寸で印刷したもの）
- 2 製図道具一式（『コースガイド』pp. 28～29参照）
- 3 コンベックス（巻尺）

4 スケッチブック

5 教科書『新しい建築の製図』

6 デジタルカメラもしくはカメラ付スマートフォン

※自身のパソコンにデータ読み込み可能なものに限る

※データを読み込みに必要なケーブルやカードリーダーは各自で持参すること

☐可能な限り持参

1 電卓（計算機） *必要な方のみ

2 平行定規（A2サイズ）

☐コースから貸出

1 製図板

2 T定規

☐コースから支給

1 ケント紙（A3）

●購入案内

- ・製図道具は『コースガイド』pp.28～29を参考に各自準備の上、持参してください。
- ・コンバックス（巻尺）、スケッチブックなどの教材は各自画材店等で購入してください。
- ・京都会場は学内にADストア（購買部）がありますので、スクーリング当日に購入していただくこともできます。営業時間については当日の掲示をご確認ください。
- ・東京会場は学内に東美店がありますが販売数に限りがありますので予約販売をお勧めします。
- ・教材の通信販売については、コースサイトもしくは下記URLを参照してください。

ADストア <http://www.adstore-kuad.co.jp/correspondence/index.html>

レモン画翠 <https://www.lemon.co.jp/student/>

東美 <http://e-tobi.co.jp/ueno-kuad/>

注意事項

●スクーリングで制作した作品の保存

スクーリングで制作した作品は、課題作品集を作成する際に必要となりますので、教室に用意された撮影ブース、もしくは自宅にて各自で撮影し保管しておいてください。研究室から作品写真の配付は行いません。

S	空間演出デザインⅠー3 モデル・メイキング	科目コード： 74103
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	※受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインⅠー3(モデル・メイキング)K 開催日程：2019年7月6日（土）～ 2019年7月7日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：55 空間演出デザインⅠー3(モデル・メイキング)T 開催日程：2019年7月13日（土）～ 2019年7月14日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：60	
担当者	寺尾文秀（京都）、矢野かほる（東京）、川合健太*他	

科目概要と到達目標

模型制作を建築設計や空間デザインのスタディに取り込むことで、等身大の住空間により近づいて空間構想を練る計画手法を学ぶ科目です。建築の仕組みの理解、模型制作の手法や様々な模型素材に応じた技法の習得に加え、模型制作を立体的構想手段として設計プロセスへ導入する手法の理解を到達目標とします。

※デザイン基礎課程のAtelier Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題の理解度
4. 道具を使った表現
5. 完成度

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

課題

●課題名

「模型制作基礎」

●内容

模型制作の基礎知識などを学習した後、モチーフの建築及びその内部空間にテーマを決め、模型で制作します。模型制作技法の習得だけでなく、空間の居住性や創造性などの図面に現れない魅力の計画について学習します。

●制作条件

- ・ airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・ 最初に事前課題として制作してきた縮尺1/100模型をもとに基礎技術の確認後、模型材料や道具の扱い方について学習します。
- ・ 課題は事前にイメージしてきた空間の模型を縮尺1/50で作ります。縮尺の変化に注意してください。
- ・ 縮尺1/50の模型空間に開口部の位置や家具レイアウトを考えます。

●最終成果物

- ・ 模型（縮尺1/50）

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 課題説明、模型制作の基本手順の説明
- 2講時 素材や技法の説明、事前課題の確認
- 3講時 縮尺1/50模型のアイデア構想・制作
- 4講時 模型制作（縮尺1/50）
- 5講時 模型制作（縮尺1/50）

●2日目

- 1講時 模型制作（縮尺1/50）
- 2講時 模型制作（縮尺1/50）
- 3講時 模型写真についての説明
- 4講時 発表準備、講評会
- 5講時 講評会

受講にあたって

●持参物

- ☐各自必ず持参
- 1 事前課題
- 2 製図道具一式（『コースガイド』pp. 28～29参照）
- 3 模型制作用道具一式（『コースガイド』pp. 28～29参照）
- 4 スケッチブック
- 5 コンベックス（巻尺）
- 6 スチレンボード（1mm厚/A3）/1枚
- 7 スチレンボード（2mm厚/A3）/1枚

- 8 スチレンボード（3mm厚/A3）/2枚
 - 9 塩ビ板（0.3mm厚/A4）またはプラ板（0.35mm厚/B4）1枚
 - 10 デジタルカメラもしくはカメラ付スマートフォン
- ※自身のパソコンにデータ読み込み可能なものに限る
※データを読み込みに必要なケーブルやカードリーダーは各自で持参すること

□可能な限り持参

- 1 電卓（計算機） ＊必要な方のみ
- 2 『図形ドリル』で扱いに苦労した素材や作品（質問希望者のみ）
- 3 事前課題で考えたプランを模型で制作する際に必要と思われる材料
例）造形素材：ひのき棒、プラ棒、バルサ材など
表現素材：ラインテープ、砂、布、スポンジ、マーカー、デザインガッシュなど

□コースから貸出

- 1 カッティングマット（A2）
- 2 人物模型（縮尺1/50、1/100）

□コースから支給

- 1 ケント紙（A3）
- 2 トレーシングペーパー（A3）
- 3 空研ぎペーパー（紙やすり）

●購入案内

- ・製図道具、模型制作用道具は（『コースガイド』pp.28～29参照）を参考に各自準備の上、持参してください。
- ・スチレンボード、塩ビ板などの模型材料は各自画材店等で購入してください。
- ・京都会場は学内にADストア（購買部）がありますので、スクーリング当日に購入していただくこともできます。営業時間については当日の掲示をご確認ください。
- ・東京会場は学内に東美店がありますが、販売数に限りがありますので予約販売をお勧めします。
- ・教材の通信販売についてはコースサイトもしくは下記URLを参照してください。

ADストア <http://www.adstore-kuad.co.jp/correspondence/index.html>

レモン画翠 <https://www.lemon.co.jp/student/>

東美 <http://e-tobi.co.jp/ueno-kuad/>

注意事項

●スクーリングで制作した作品の保存

スクーリングで制作した作品は、課題作品集を作成する際に必要となりますので、教室に用意された撮影ブース、もしくは自宅にて各自で撮影し保管しておいてください。研究室から作品写真の配付は行いません。

S	空間演出デザインⅡ－1 デジタル表現基礎	科目コード： 74104
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	【II-1K、II-1T】受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 【II-1M】メディア授業を受講する場合は指定期日までにデータをアップロードしておくこと。「II-1M」の開催日程は2019年10月1日（火）～12月31日（火）の間の指定期間となります。詳しくは「スクーリング・研究経過報告」にある『II-1M（メディア授業）受講にあたっての注意事項』等でスケジュールを確認してください。	
開講日程・開講地・定員	空間演出デザインⅡ－1/Ⅱ－1～3(デジタル表現基礎)K 開催日程：2019年8月10日（土）～ 2019年8月11日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：50 空間演出デザインⅡ－1/Ⅱ－1～3(デジタル表現基礎)T 開催日程：2019年8月3日（土）～ 2019年8月4日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：55 空間演出デザインⅡ－1/Ⅱ－1～3(デジタル表現基礎)M 開催日程：2019年8月4日（日）, 2019年8月25日（日） 開催地：Web■、受講料： ￥16,000、定員：15	
担当者	大谷俊郎（京都）、安藤秀一（東京）、岡本正人（メディア）、上田篤* 他	

科目概要と到達目標

コンピュータの画像編集ソフト「Photoshop」と図面レイアウトソフト「Illustrator」の基本的な機能を用いて、イメージーションや設計思想を他者にいかに伝達することができるかを、仮想の設計図書の作成を通して学ぶ科目です。表現メディアとしてのデザインソフトの理解と、表現ツールとしての使い方の習得、建築設計や空間デザインのプロセスにおけるデザイン表現の幅を広げる効果的な視覚伝達法の習得を到達目標とします。

※デザイン基礎課程のAtelier Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
 2. 授業への取り組み
 3. 課題及びソフトウェア操作の理解
 4. 情報編集力
 5. 構想、表現力
 6. 課題の完成度およびプレゼンテーション
- 事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理し

てしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	airUマイページの事前課題を参照

課題

●課題名

「コンピュータによる空間表現基礎」

●内容

デジタル環境でのデザインワークを実践するために、Adobe Photoshopでの画像処理とAdobe Illustratorでの図形処理、それらの統合的利用をテーマとして、情報の収集から編集、視覚表現までのプロセスについて学びます。ハンドワークの延長線上にあるデザイナー必須の表現ツールとしての側面と、デジタル環境であるがゆえの表現メディアとしての特性という2つの視座から、デザインとコンピュータについて各自が考察する起点となることを目指します。デザインに取り組む上で重要な知識や視点について概説する講義、アプリケーションソフトウェアの基本的な操作について理解するための演習、自己の感性や思考を視覚的に定着させる課題作品の制作という、3つのチャンネルを複合的に構成したプログラムで実施します。

●制作条件

【II-1K、II-1T】

- ・パソコンを使った授業です。ノート型パソコンにソフトウェア（Adobe Creative Cloud）をインストールした上で必ず持参してください。
- ・airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・具体的な制作物は平面の中にも奥行感を感じる写真と文字を組み合わせた印刷物となります。
- ・Photoshopの使用は簡単な画像の補正とトリミング、コラージュのための切り抜きを主とします。
- ・Illustratorの使用は画像のレイアウト及び文字入力を主とします。
- ・データの持参、バックアップのためのUSBフラッシュメモリを忘れず持参してください。
- ・作業効率を上げるにはマウスは必須です。忘れずに持参してください。

【II-1M】

- ・パソコンを使った授業です。ノート型パソコンにソフトウェア（Adobe Creative Cloud）をインストールした上で受講してください。
- ・詳しくはairUマイページ科目ページ上「スクーリング・研究経過報告」にある『II-1M（メディア授業）受講にあたっての注意事項』を参照してください。

●最終成果物

- ・制作データと出力物(A4 もしくはA3サイズ)

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 課題説明、事前課題の確認、講義「デジタル環境における視覚表現の基本要素」
- 2講時 演習「Photoshopによる画像処理操作の基礎1（フォトコラージュ）」

- 3講時 講義「デジタル環境における色彩の基礎知識」
4講時 課題「Photoshopによる画像処理操作の基礎2（イメージ表現）」
5講時 演習「Illustratorによる図形処理操作及びレイアウトの基礎」

●2日目

- 1講時 講義「画面空間と数理的分割による構成」、講義「文字と視覚表現を考える」
2講時 課題「IllustratorとPhotoshopの複合による制作」
3講時 課題「IllustratorとPhotoshopの複合による制作」
4講時 課題制作、講評会
5講時 講評会

※メディア授業も授業内容は同一ですが進行が異なります。詳しくはairUマイページ該当科目ページの進行に従ってください。

受講にあたって

●持参物

□各自必ず持参

- 1 事前課題
- 2 ノート型パソコン（ACアダプター、マウス等の周辺機器含む）
※メディア授業を受講する場合は、Webカメラ及びマイク・スピーカーが正常に作動することを確認しておくこと
- 3 学内LAN利用アカウント（『学習ガイド』p.91参照）
- 4 スケッチブック
- 5 筆記用具
- 6 USBフラッシュメモリ（推奨：1GB以上）
- 7 デジタルカメラもしくはカメラ付スマートフォン
※自身のパソコンにデータ読み込み可能なものに限る
※データを読み込みに必要なケーブルやカードリーダーは各自で持参すること

□各自可能な限り持参

- 1 延長コード

□コースから貸出

- 1 カラープリンター

※自宅での作業はアナログでもパソコンを使ったデジタルでも構いませんが、いずれの場合もメディア授業の場合はアップロードするためにデータ化する必要があります。詳しくはairUマイページの科目ページ上「スクーリング・研究経過報告」にある『II-1M（メディア授業）受講にあたっての注意事項』を参照すること。

※『II-1M（メディア授業）受講にあたっての注意事項』の中には、WEB指導で使用するソフトウェアのインストールについての説明がありますので、WEB指導開始までに忘れずにインストールしておくこと。

注意事項

- 当科目は、対面授業かメディア授業かの選択となります。
（「II-1K」、「II-1T」、「II-1M」のいずれか1つを受講）

●airUマイページ上の表示について

本科目は他のスクーリング科目とairUマイページ上の見え方が以下のようになり通常とは異なります。

「シラバス」>「はじめに」>「スクーリング・研究経過報告」>「おわりに」
スクーリング日程や開講地、開講形態等については「シラバス」のページに掲載されています。
事前課題はairUマイページ科目ページ上「スクーリング・研究経過報告」に掲載されていますので、自身の申し込んだ授業を『所属を選択』から選び、その内容・スケジュールを見落とさないよう注意してください。
また、スクーリング後の成績評価はairUマイページの成績一覧へ反映されますので、そちらでご確認ください。

●持参するノート型パソコンについて

『コースガイド』pp.26～27及びairUキャンパス>コースサイトを参照し、用意したノート型パソコンにコースで使用するソフトウェア(Adobe Creative Cloud)をインストールし、起動することを確認した上で持参するようにしてください。

●作業データの保存について

スクーリング期間中のデータのバックアップ等のため、USBフラッシュメモリ(推奨:1GB以上)などのメディアを持参してください。また完成データは課題作品集を作成する際にも必要となりますので大切に保管しておいてください。

●パソコンでの表現力を向上させるために

スクーリングの受講はソフトウェア導入のきっかけでもあり、この授業だけで全ての機能を習得できるわけではありません。ソフトウェアを使いこなすためには常日頃から使用し続けることが一番の近道です。

●II-1M(メディア授業)を受講される方へ(重要)

メディア授業で受講される方は自宅での制作とairUマイページ等のWEBを使った指導での授業となります。スクーリングのように投稿する必要はありませんが、スケジュールに従ってIllustratorやPhotoshopなどのソフトウェアを各自で使用し、制作を行います。スクーリングでの対面授業のように制作中のリアルタイムでの質問や相談ができません。基本操作などにおいても自分で調べるなどにより課題を進めていく必要が生じます。

初学者の方や、コンピュータやソフトウェア(Illustrator・Photoshop)の操作に慣れていない方は、京都もしくは外苑のスクーリングでの受講を推奨します。スクーリング申込の前に必ずご自身がメディア授業の受講に適しているかどうか、airUマイページ科目ページ上「スクーリング・研究経過報告書」にある「【共通】学習をすすめるにあたって」の受講適正判断チェックシートをダウンロードし、判断するようにしてください。

また、制作以外にもWEBへアクセスしたりデータをアップロードする必要があります。必須項目を指定期間内にクリアできない場合は単位修得できません。詳しくはairUマイページ科目ページ上「スクーリング・研究経過報告書」にある「【II-1M】メディア授業受講にあたっての注意事項」等をご確認ください。メディア授業は「スクーリング・研究経過報告書」の中で進行します。

重要な点だけ補足すると、スクーリングのようにキャンパスへ登校する必要はありませんが、「オンラインWeb面談」として2回、指定された時間にインターネットを通じて受講する必要があります。それぞれ以下のように2日程で行います(受講者数によっては変更の可能性があります)。

・オンラインWeb面談1

日程: 8/4(日) 14時～19時の間の2時間

・オンラインWeb面談2

日程: 8/25(日) 14時～19時の間の2時間

いずれの日程も14時～19時の時間帯はご自身の予定を空けておいてください。

最終的に提出された制作物に関しては9/8（日）以降、動画等によって講評を配信します。

また、これ以外にも3度の提出や相互コメントの期間が設定されています。それらは期間内であればいつ取り組んでも構いませんが、忘れることのないよう注意しましょう。繰り返しますが、スケジュールはよく確認してください。

S	空間演出デザインⅡ－2 造形表現基礎	科目コード： 74105
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインⅡ－2/Ⅱ－1～3(造形表現基礎)K 開催日程：2019年8月31日（土）～ 2019年9月1日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：55 空間演出デザインⅡ－2/Ⅱ－1～3(造形表現基礎)T 開催日程：2019年9月7日（土）～ 2019年9月8日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：55	
担当者	上田篤*、他（京都）、牛腸達夫（東京） 他	

科目概要と到達目標

身近な素材の加工を通して、立体的な造形・デザイン表現の基礎について学ぶ科目です。点・線・面という造形の基本要素を理解した上で、作品制作や様々な空間への演出を試みながら、発想力、表現力を養います。身近な素材から多様な表現方法の可能性を発見する力を習得することを到達目標とします。
※デザイン基礎課程のAtelier Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題の理解
4. 発想・思考の方法
5. 表現力
6. 展開力

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

課題

●課題名

「立体デザインの基礎演習」

●内容

この授業では、身近な素材を扱いながら、「点・線・面」という造形・デザインの基本要素と、「切る・折る・曲げる」という加工の基礎技法を活用し、立体的な造形による空間演出に挑戦します。素材特性の理解、それを生かした造形表現、その作品撮影の基礎知識、最後のプレゼンテーションまで、講義を交えながら演習を通して身につけます。

●制作条件

- ・ airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・ パソコンを使った簡単なプレゼンテーションにも取り組みます。ノート型パソコンにソフトウェア (Adobe Creative Cloud) をインストールした上で必ず持参してください。

●最終成果物

- ・ 立体制作物
- ・ 空間へのインスタレーション
- ・ 上記を撮影して加工したプレゼンテーションデータ

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 ガイダンス、事前課題の確認、線のレッスン1
- 2講時 線のレッスン2
- 3講時 面のレッスン1
- 4講時 面のレッスン2
- 5講時 合評会

●2日目

- 1講時 ガイダンス、インスタレーションのユニット制作
- 2講時 インスタレーション1
- 3講時 インスタレーション2
- 4講時 写真撮影、データ化
- 5講時 合評会

※天候などの状況によっては1日目と2日目が入れ替わることもあります。

受講にあたって

●持参物

- ☐ 各自必ず持参
- 1 事前課題
- 2 模型制作用道具一式
- 3 スケッチブック
- 4 コンベックス (巻尺)

5 ノート型パソコン（ACアダプター、マウス等の周辺機器含む）

6 学内LAN利用アカウント（『学習ガイド』p.91参照）

7 作品データを保存する為のメディア（USBメモリなど）

8 デジタルカメラもしくはカメラ付スマートフォン

※自身のパソコンにデータ読み込み可能なものに限る

※データを読み込みに必要なケーブルやカードリーダーは各自で持参すること

☐各自可能な限り持参

1 延長コード

☐コースから貸出・支給

1 カッティングマット

2 スプレーのり

注意事項

●持参するノート型パソコンについて

・『コースガイド』pp.26～27及びairUキャンパス>コースサイトを参照し、用意したノート型パソコンにコースで使用するソフトウェア(Adobe Creative Cloud)をインストールし、起動することを確認した上で持参するようにしてください。

●作業データの保存について

・スクーリング期間中のデータのバックアップ等のため、USBフラッシュメモリ(推奨:1GB以上)などのメディアを持参してください。また完成データは課題作品集を作成する際にも必要となりますので大切に保管しておいてください。

S	空間演出デザインⅡ－3 CAD表現基礎2D	科目コード： 74106
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※「空間演出デザインI-2（ドラフティング）」受講後が望ましい。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインⅡ－3/Ⅱ－1～3(CAD表現基礎2D)K 開催日程：2019年11月30日（土）～ 2019年12月1日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：50 空間演出デザインⅡ－3/Ⅱ－1～3(CAD表現基礎2D)T 開催日程：2019年12月7日（土）～ 2019年12月8日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：50	
担当者	寺尾文秀（京都）、奥野幹（東京）、川合健太* 他	

科目概要と到達目標

住空間の設計を題材として、建築の各種図面をCADソフト「AutoCAD LT」の二次元基本ツールを用いて図面表現することで、コンピュータを使った建築設計製図の基礎技法を学ぶ科目です。CAD製図の基礎技法の習得にとどまらず、建築設計や空間デザインにおけるCADの活用法とその表現法の理解、設計プロセスに必要となる手順についての理解を到達目標とします。
※デザイン基礎課程のAtelier Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題およびCAD操作の理解
4. 構想
5. 応用力
6. プレゼンテーション

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	『AutoCAD LTで学ぶ建築製図の基本』エクスナレッジ

課題

●課題名

「コンピュータによる設計製図基礎」

●内容

設計製図の基礎を確認しながら、CADにおける基本的な操作法を習得し、最終的に構想した空間の図面表現等を指定された用紙内にレイアウトし、図面作品として仕上げます。

私たちが学んでいる空間は、言葉で簡単に伝えることが難しく、いわゆる「図」というメディアを利用して表現されています。空間構想は、手描きによるスケッチを重ねたり、スタディ模型をつくるなどアナログ作業を中心に検討を深め、イメージを固めていきます。そして最終段階では、製図によって縦・横・高さの寸法を決定していく必要がありますが、最近では手描き図面であることは稀になり、デジタル化されCAD製図されるようになりました。デジタル化の利点として、以下の項目が挙げられます。

- ・ ネットワーク環境の発達にともないデジタルデータ化した方が情報の共有化をはかりやすい。
- ・ 企画書づくりや製図において、最終段階でもレイアウトなどの編集が可能である。
- ・ 複製をつくりやすく、元データはコンパクトで保管が容易である。
- ・ トレースする必要がない。例えば、設備機器や家具メーカーのCADデータを取込み微調整すればよい。

しかし、デジタルが万能というわけではありません。空間構想の初期段階は、手描きで大胆にスケッチやエスキスを繰り返した方が発想を広げやすいと考えています。また、CAD図面は無限に拡大することができるため、何を伝えるためか縮尺はどうあるかを見極める必要があります。

このスクリーニングではCADソフトAutoCAD LTを用いて、まず二次元描画の基礎を習得します。その後、図面表現の応用を学んで活用し、プレゼンテーションボードにまとめます。

●制作条件

- ・ airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクリーニングへ持参してください。
- ・ ノート型パソコンにソフトウェア「AutoCAD LT」をインストールした上で持参してください。
- ・ 各自でAutoCAD LTの操作マニュアル本を読むなどして、二次元基本操作はどんなことができるのか感覚的につかんでおくと、スクリーニングに慣れやすいでしょう。
- ・ データの持参、バックアップのためのUSBフラッシュメモリを忘れず持参してください。
- ・ 作業効率を上げるにはマウスは必須です。忘れずに持参してください。
- ・ 外付けのテンキーもあると非常に便利です。

●最終成果物

- ・ 制作データと出力物(A3サイズ)

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 事前課題の確認、CAD 2Dオリエンテーション
- 2講時 操作方法の説明、図面作成
- 3講時 図面作成
- 4講時 図面作成
- 5講時 図面作成

●2日目

- 1講時 図面作成

2講時 図面作成
3講時 図面作成
4講時 図面作成
5講時 講評会

受講にあたって

●持参物

☐各自必ず持参

- 1 事前課題
- 2 ノート型パソコン（ACアダプタ、マウス等の周辺機器を含む）
- 3 学内LAN利用アカウント（『学習ガイド』p.91参照）
- 4 三角スケール
- 5 筆記用具
- 6 スケッチブック
- 7 USBフラッシュメモリ（推奨：1GB以上）

☐各自可能な限り持参

- 1 延長コード
- 2 マウス
- 3 外付けテンキー

☐コースから貸出

- 1 カラープリンター

注意事項

●持参するノート型パソコンについて

コースガイドpp.26～27及びairUキャンパス＞コースサイトを参照し、用意したノート型パソコンにソフトウェア(AutoCAD LT、Adobe Creative Cloud)をインストールし、起動することを確認した上で持参するようにしてください。

●作業データの保存について

スクーリング期間中のデータのバックアップ等のため、USBフラッシュメモリ(推奨:1GB以上)などのメディアを持参してください。また完成データは課題作品集を作成する際にも必要となりますので大切に保管しておいてください。

●パソコンでの表現力を向上させるために

スクーリングの受講はソフトウェア導入のきっかけでもあり、この授業だけで全ての機能を習得できるわけではありません。ソフトウェアを使いこなすためには常日頃から使用し続けることが一番の近道です。

S	空間演出デザインIII－1 空間構想・エスキス	科目コード： 74107
配当年次	2年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	【III-1K、III-1T】受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 【III-1M】メディア授業を受講する場合は指定期日までにデータをアップロードしておくこと。「III-1M」の開催日程は2019年10月1日（火）～12月31日（火）の間の指定期間となります。詳しくは「スクーリング・研究経過報告」にある『III-1M（メディア授業）受講にあたっての注意事項』等でスケジュールを確認してください。 ※「空間演出デザインI-2（ドラフティング）」、「空間演出デザインI-3（モデル・メイキング）」受講後が望ましい。	
開講日程・開講地・定員	空間演出デザインIII－1(空間構想・エスキス)K 開催日程：2019年11月16日（土）～ 2019年11月17日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：40 空間演出デザインIII－1(空間構想・エスキス)T 開催日程：2019年10月5日（土）～ 2019年10月6日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：40 空間演出デザインIII－1(空間構想・エスキス)M 開催日程：2019年10月6日（日）, 2019年10月20日（日） 開催地：Web■、受講料： ¥16,000、定員：15	
担当者	家成俊勝（京都）、大野力（東京）、川合健太（メディア）* 他	

科目概要と到達目標

建築の造形的魅力の追求だけでなく、設計製図や模型制作の基本技術の確認に加え、建築空間と人や物との関係性を検証する建築計画手法について学ぶ科目です。

エスキスやスタディ模型の制作を繰り返しながら、構想する空間の設計思想や形態・構造、魅力等を論理的に第三者に伝えるための計画力、伝達力の習得を到達目標とします。

→エスキス[esquisse：仏語]：設計における下書きやスケッチのこと

→スタディ模型：設計内容を確認するために作る簡易な模型のこと

※デザイン基礎課程のForum Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題の理解度
4. 計画の論理性
5. 計画の具現化手法、表現力
6. プレゼンテーション

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『新しい建築の製図』
参考文献・URL	『作家たちのモダニズム 建築・インテリアとその背景』学芸出版社 『1000チェア』タッセン・ジャパン 『椅子さがし建築めぐり』学芸出版社 『木造・S造・RC造ディテール集』エクスナレッジムック 『第3版コンパクト建築設計資料集成』

課題

●課題名

「椅子のギャラリー」

ギャラリーという機能的に言えば比較的自由度の高いカテゴリーを使い、発想を広げつつ、アイデアを空間という形式にどのように翻訳してデザインするかを主たる目的とします。また、そのデザインを進めるプロセスを重視して授業を行うものとします。

●内容

展示機能を持った建築を題材とし、イメージやコンセプトを空間に置き換えていく建築計画のプロセスを、ドローイングによるエスキスや模型によるスタディを繰り返しながら検討することで習得します。同時に、構想・エスキスから構造形式・建築材料に対する配慮、そして図面表現にいたる設計プロセスを通して、建築空間を構想するための具体的な手順を体得します。1年次に設計図の描き方や読み方、さらに小さな空間をデザインして学んだことを踏まえ、ここでは「椅子のギャラリー」を設計します。歴史的に見れば椅子は王位などの権力を誇示する象徴として用いられ、座るという機能が主体となっていたわけではない時代がありました。20世紀初頭、椅子は機能性や合理性といった概念を用い、新しい素材への挑戦や形態に関わる実験が試みられるようになりました。ル・コルビュジェの「シェーズ・ロング」やミース・ファン・デル・ローエの「バルセロナチェア」、ヘリット・トーマス・リートフェルトの「レッド・アンド・ブルー」など建築家によってモダニズムの名作椅子が多数作られました。椅子を単に座るものとして考えるのではなく、様々な背景をもつことを理解しながら、椅子を見る建築空間を考えてください。椅子の何を見ようとするのか、どう見ようとするのか、そのことを問いかけながら、設計しなければなりません。ただ四角いハコをつくるのではなく、光の入れ方、空間の構成、展示される椅子の配置、どのような経路をたどって見るのか、いろいろ考える必要があります。この課題では敷地を設定し、新しいギャラリーのあり方をじっくり考えてみましょう。

●制作条件

・airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクリーニングへ持参してください。
※「III-1M（メディア授業）」を受講される方は指定期日までにデータをアップロードしてください。なお、その場合、以降の制作条件はWEB上でのメディア授業にも適用されます。詳しくはairUマイページ科目ページ「スクリーニング・研究経過報告」にある「III-1M（メディア授業）受講にあたっての注意事項」を参照してください。

- ・最初に事前課題でのエスキスの方向性をチェック後、再度改善のためのエスキスを行います。
- ・エスキスが固まった段階で、図面と模型の制作をはじめます。
- ・最終的には図面と模型を用いたプレゼンテーションを行ってもらいます。

●最終成果物

- ・図面（A2サイズ）2枚
- ・模型（縮尺1/50）

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 課題説明、ドローイングによるエスキスとスタディ模型のチェック
- 2講時 エスキスチェック
- 3講時 ドローイング及びスタディ模型作成
- 4講時 ドローイング及びスタディ模型作成
- 5講時 模型制作、図面作成

●2日目

- 1講時 模型制作、図面作成
- 2講時 模型制作、図面作成
- 3講時 模型制作、図面作成
- 4講時 模型制作、図面作成、写真撮影
- 5講時 講評会

※メディア授業も授業内容は同一ですが進行が異なります。詳しくはairUマイページの該当科目ページの進行に従ってください。

受講にあたって

●持参物

【III-1K、III-1Tを受講する場合の持参物】

☐各自必ず持参

- 1 事前課題
- 2 製図道具一式（『コースガイド』pp.28～29参照）
- 3 模型制作用道具一式（『コースガイド』pp.28～29参照）
- 4 模型材料（詳細は下記〈模型材料の目安〉参照）
- 5 彩色道具（マーカー等）※使用する方のみ
- 6 スケッチブック
- 7 デジタルカメラ（SDカードもしくはmicroSDカード対応のもの）

※上記以外にもスマートフォンなどのカメラ付携帯端末でmicroSDカード対応のものは可

※データを読み込み可能なカードリーダーを持参する場合はその他の形式のカメラも可

☐可能な限り持参

- 1 ノート型パソコン（デジタルでの制作希望者のみ）

☐コースから貸出

- 1 製図板
- 2 T定規

- 3 カッティングマット (A2)
- 4 ステンレス定規 (60cm)
- 5 カラープリンター (デジタルでの制作者用)

□コースから支給

- 1 ケント紙 (A2)
- 2 トレーシングペーパー (A2)
- 3 プリンター用紙

●購入案内

・ 持参すべき基本的な模型材料については、airUマイページのWEB教材概要でもお知らせしていますが以下の目安を参照して、各自模型制作材料を持参してください。

～模型材料の目安～

【最低限持参する模型材料】

- ・ スチレンボード厚3mm
- ・ スチレンボード厚2mm
- ・ スチレンボード厚1mm
- ・ ケント紙

※ 以上、各A2サイズ程度。スクーリングではA3サイズ程度まで使用します。余った材料は持ち帰り、今後の課題で使用しましょう。

- ・ 塩ビ板 (透明) 0.3mmもしくはプラ板 (透明) 0.35mm (A4サイズ程度)

【その他各自の空間イメージにあった材料】

設計内容を鑑みて模型に使用したい材料がある場合には、各自準備の上、持参してください。
画材屋やホームセンターなどでさまざまな材料に触れてみることをおすすめします。

一例として

- ・ バルサ材 (木質の仕上げにしたい場合)
- ・ ダンボールやチップボード (スチレンボードと異なる質感表現にしたい場合)
- ・ アルミ板、シート (金属の仕上げにしたい場合)
- ・ 外構表現用材料 (かすみ草、砂利など)

などがあります。

【III-1M (メディア授業) を受講する場合の準備物】

- 1 受講に使用するパソコン (インターネットへの接続が必要、Webカメラ及びマイク・スピーカーが正常に作動することを確認しておくこと)
 - 2 事前課題 (アップロード用にデータ化しておくこと)
 - 3 製図道具一式 (『コースガイド』 pp. 28～29参照 / アナログで制作する場合)
 - 4 模型制作作用道具一式 (『コースガイド』 pp. 28～29参照 / アナログで制作する場合)
 - 5 模型材料 (詳細は上記＜模型材料の目安＞参照)
 - 6 彩色道具 (マーカー等) ※使用する方のみ (アナログで制作する場合)
 - 7 スケッチブックなどの構想用紙
 - 8 デジタルカメラ (各自でデータ読み込みが可能なもの)
 - 9 カッティングマット (A3サイズ以上のもの / アナログで制作する場合)
 - 10 ステンレス定規 (60cm)
 - 11 カラープリンターおよび出力紙 (自身の制作チェック用)
- その他、制作に必要なものを適宜準備しておく。

※自宅での作業はアナログでもパソコンを使ったデジタルでも構いませんが、いずれの場合もメディア授業の場合はアップロードするためにデータ化する必要があります。詳しくはairUマイページの科目ページ上「スクーリング・研究経過報告」にある『III-1M (メディア授業) 受講にあたっての注意事項

項』を参照すること。

※『III-1M（メディア授業）受講にあたっての注意事項』の中には、WEB指導で使用するソフトウェアのインストールについての説明がありますので、WEB指導開始までに忘れずにインストールしておくこと。

注意事項

●当科目は、対面授業かメディア授業かの選択となります。
（「III-1K」、「III-1T」、「III-1M」のいずれか1つを受講）

●airUマイページ上の表示について

本科目は他のスクーリング科目とairUマイページ上の見え方が以下のようになり通常とは異なります。

「シラバス」>「はじめに」>「スクーリング・研究経過報告」>「おわりに」

スクーリング日程や開講地、開講形態等については「シラバス」のページに掲載されています。

事前課題はairUマイページ科目ページ上「スクーリング・研究経過報告」に掲載されていますので、自身の申し込んだ授業を『所属を選択』から選び、その内容・スケジュールを見落とさないよう注意してください。

また、スクーリング後の成績評価はairUマイページの成績一覧へ反映されますので、そちらでご確認ください。

●パソコンでの制作を希望される方へ（「III-1K」、「III-1T」を受講の場合）

このスクーリングではパソコンの持参は必須ではありませんが、パソコンを使った制作を希望される方は持参して構いません。A3サイズの出力ができる環境としています。

●スクーリングで制作した作品の保存（「III-1K」、「III-1T」を受講の場合）

スクーリングで制作した作品は、課題作品集を作成する際に必要となりますので、教室に用意された撮影ブース、もしくは自宅にて各自で撮影し保管しておいてください。研究室から作品写真の配付は行いません。

●III-1M（メディア授業）を受講される方へ

メディア授業で受講される方は自宅での制作とairUマイページ等のWEBを使った指導での授業となります。スクーリングのように登校する必要はありませんが、スケジュールに従ってWEBへアクセスしたりデータをアップロードする必要があり、必須項目を指定期間内にクリアできない場合は単位修得できませんので注意してください。詳しくは事前課題配付ページにあるスケジュール等をご確認ください。メディア授業はairUマイページ科目ページ上「スクーリング・研究経過報告」の中で進行します。

重要な点だけ補足すると、スクーリングのようにキャンパスへ登校する必要はありませんが、「オンラインWeb面談」と「オンラインWeb講評」の2回、指定された時間にインターネットを通じて受講する必要があります。それぞれ以下の日程で行います。

・オンラインWeb面談

日程：10/6（日）14～19時の間の2時間

・オンラインWeb講評

日程：10/20（日）14～19時の間の2時間

また、これ以外にも2度の提出や相互コメントの期間が設定されています。それらは期間内であればいつ取り組んでも構いませんが、忘れることのないよう注意しましょう。繰り返しますが、スケジュールはよく確認してください。

S	空間演出デザインIII-2 空間構想・デザインプロセス	科目コード： 74108
配当年次	2年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	【III-2K、III-2T】受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 【III-2M】メディア授業を受講する場合は指定期日までにデータをアップロードしておくこと。「III-2M」の開催日程は2019年10月1日（火）～12月31日（火）の間の指定期間となります。詳しくは「スクーリング・研究経過報告」にある『III-2M（メディア授業）受講にあたっての注意事項』等でスケジュールを確認してください。 ※「空間演出デザインI-2（ドラフティング）」、「空間演出デザインI-3（モデル・メイキング）」受講後が望ましい。	
開講日程・開講地・定員	空間演出デザインIII-2(空間構想・デザインプロセス)K 開催日程：2019年10月26日（土）～ 2019年10月27日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：40 空間演出デザインIII-2(空間構想・デザインプロセス)T 開催日程：2019年11月2日（土）～ 2019年11月3日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：40 空間演出デザインIII-2(空間構想・デザインプロセス)M 開催日程：2019年11月3日（日）, 2019年11月10日（日） 開催地：Web■、受講料： ¥16,000、定員：15	
担当者	上田篤*（京都、メディア）、川合健太（東京）他	

科目概要と到達目標

建築の造形的魅力の追求だけでなく、設計製図や模型制作の基本技術の確認に加え、他者から要請されるデザインを自己の構想に基づいて具現化していくための意匠計画のプロセスについて学ぶ科目です。現代の建築や空間デザインがカタチとなり世に出るためには、クライアントや消費者の生活に対する感動を読み取り具体的なカタチへと変換するライフスタイルの分析が設計プロセスに不可欠です。個や集団の生活に対する価値観から要請されるデザインを具現化させるための論理的な計画力の習得とデザインの裏に潜む理由についての理解を到達目標とします。

※デザイン基礎課程のForum Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 情報調査・分析力
4. 発想・構想力
5. デザインへ至る論理構成（説得力）
6. プレゼンテーション

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『新しい建築の製図』、『インテリア計画の知識』
参考文献・URL	『片づけの解剖図鑑』エクスナレッジ 『木造・S造・RC造ディテール集』エクスナレッジムック 『第3版コンパクト建築設計資料集成』丸善

課題

●課題名

「デザインすることを考える」

●内容

ライフスタイルの分析に基づいた空間デザインに取り組みます。ここではクライアントは一冊の雑誌（生活情報誌）です。衣食住が取り扱われた雑誌を一冊選定し、その愛読者層に訴えかけるデザインを論理的に導く演習を行います。雑誌から要求されるイメージを抽出した後、分析→コンセプト、デザイン方針の策定→デザインワーク→プレゼンテーションのステップで進めます。このプロセスを遂行することで「デザインには理由がある」ことを常に意識してください。

プレゼンテーションについては、基本的な製図技法や模型制作技術をベースとして、計画理論のわかりやすい表現や素材感等のリアリティの導入も試みてプレゼンテーションシートに図面や模型写真で表現します。

●制作条件

・airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
※「III-2（メディア授業）」を受講される方は指定期日までにデータをアップロードしてください。
なお、その場合、以降の制作条件はWEB上でのメディア授業にも適用されます。詳しくはairUマイページ科目ページ上「スクーリング・研究経過報告」にある『III-2M（メディア授業）受講にあたっての注意事項』を参照してください。

・最初に事前課題で制作した「1）生活イメージマップ（A3サイズ）」をもとにユーザーイメージを固めます。誰に向けてデザインするかの設定です。

・続いて事前課題でラフ案を制作した「2）デザインコンセプトマップ（A3サイズ）」をチェック後、修正し完成させます。1）で想定したユーザーに対するデザインコンセプトを設定します。

・デザインコンセプトに基づいたデザイン提案を「3）デザインプレゼンテーション（A2サイズ）」として図面やスケッチ、模型を使ってまとめます。

・最終的には3）を使って自身の提案するデザインをプレゼンテーションしていただきます。

●最終成果物

- ・生活イメージマップ（A3サイズ）1枚
- ・デザインコンセプトマップ（A3サイズ）1枚
- ・デザインプレゼンテーション（A2サイズ）1枚

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 課題説明、コンセプトマップ、イメージマップのチェック

2講時 コンセプトマップの制作

3講時 コンセプトマップの完成

4講時 デザインプレゼンテーションの説明

5講時 デザインプレゼンテーションの制作

●2日目

1講時 デザインプレゼンテーションの制作、講義「プレゼン手法」

2講時 デザインプレゼンテーションの制作

3講時 デザインプレゼンテーションの制作

4講時 講評会準備

5講時 講評会

※メディア授業も授業内容は同一ですが進行が異なります。詳しくはairUマイページの該当科目ページの進行に従ってください。

受講にあたって

●持参物

【III-2K、III-2Tを受講する場合の持参物】

☐各自必ず持参

1 事前課題

2 製図道具一式（『コースガイド』pp.28～29参照）

3 模型制作用道具一式（『コースガイド』pp.28～29参照）

4 彩色道具（マーカー等）※使用する方のみ

5 スケッチブック

6 デジタルカメラ（SDカードもしくはmicroSDカード対応のもの）

※上記以外にもスマートフォンなどのカメラ付携帯端末でmicroSDカード対応のものは可

☐可能な限り持参

1 ノート型パソコン（デジタルでの制作希望者のみ）

☐コースから貸出

1 製図板

2 T定規

3 カッティングマット（A2）

4 ステンレス定規（60cm）

5 カラープリンター（デジタルでの制作者用）

☐コースから支給

1 ケント紙（A2、A3）

2 トレーシングペーパー（A3）

【III-2M（メディア授業）を受講する場合の準備物】

- 1 受講に使用するパソコン（インターネットへの接続が必要、Webカメラ及びマイク・スピーカーが正常に作動することを確認しておくこと）
- 2 事前課題（アップロード用にデータ化しておくこと）
- 3 製図道具一式（『コースガイド』pp.28～29参照／アナログで制作する場合）
- 4 模型制作用道具一式（『コースガイド』pp.28～29参照／アナログで制作する場合）
- 5 彩色道具（マーカー等）※使用する方のみ（アナログで制作する場合）
- 6 スケッチブックなどの構想用紙
- 7 デジタルカメラ（各自でデータ読み込みが可能なもの）
- 8 カッティングマット（A3サイズ以上のもの／アナログで制作する場合）
- 9 ステンレス定規（60cm）
- 10 カラープリンターおよび出力紙（自身の制作チェック用）

その他、制作に必要なものを適宜準備しておく。

※自宅での作業はアナログでもパソコンを使ったデジタルでも構いませんが、いずれの場合もメディア授業の場合はアップロードするためにデータ化する必要があります。詳しくはairUマイページの科目ページ上「スクーリング・研究経過報告」にある『III-2M（メディア授業）受講にあたっての注意事項』を参照すること。

※『III-2M（メディア授業）受講にあたっての注意事項』の中には、WEB指導で使用するソフトウェアのインストールについての説明がありますので、WEB指導開始までに忘れずにインストールしておくこと。

注意事項

- 当科目は、対面授業かメディア授業かの選択となります。
（「III-2K」、「III-2T」、「III-2M」のいずれか1つを受講）

- airUマイページ上の表示について

本科目は他のスクーリング科目とairUマイページ上の見え方が以下のようになり通常とは異なります。

「シラバス」>「はじめに」>「スクーリング・研究経過報告」>「おわりに」

スクーリング日程や開講地、開講形態等については「シラバス」のページに掲載されています。

事前課題はairUマイページ科目ページ上「スクーリング・研究経過報告」に掲載されていますので、自身の申し込んだ授業を『所属を選択』から選び、その内容・スケジュールを見落とさないよう注意してください。

また、スクーリング後の成績評価はairUマイページの成績一覧へ反映されますので、そちらでご確認ください。

- III-2M（メディア授業）を受講される方へ

メディア授業で受講される方は自宅での制作とairUマイページ等のWEBを使った指導での授業となります。スクーリングのように登校する必要はありませんが、スケジュールに従ってWEBへアクセスしたりデータをアップロードする必要があり、必須項目を指定期間内にクリアできない場合は単位修得できませんので注意してください。詳しくは事前課題配付ページにあるスケジュール等をご確認ください。メディア授業はairUマイページ科目ページ上「スクーリング・研究経過報告」の中で進行します。

重要な点だけ補足すると、スクーリングのようにキャンパスへ登校する必要はありませんが、「オンラインWeb面談」と「オンラインWeb講評」の2回、指定された時間にインターネットを通じて受講する必要があります。それぞれ以下の日程で行います。

- ・オンラインWeb面談

日程：11/3（日・祝）14～19時の間の2時間

- ・オンラインWeb講評

日程：11/10（日）14～19時の間の2時間

いずれの日程も14時～19時の時間帯はご自身の予定を空けておいてください。

また、これ以外にも2度の提出や相互コメントの期間が設定されています。それらは期間内であればいつ取り組んでも構いませんが、忘れることのないよう注意しましょう。繰り返しますが、スケジュールはよく確認してください。

●パソコンでの制作を希望される方へ（「III-2K」「III-2T」を受講の場合）

このスクーリングではパソコンの持参は必須ではありませんが、パソコンを使った制作を希望される方は持参して構いません。A3サイズの出力ができる環境としています。

●スクーリングで制作した作品の保存（「III-2K」「III-2T」を受講の場合）

スクーリングで制作した作品は、課題作品集を作成する際に必要となりますので、教室に用意された撮影ブース、もしくは自宅にて各自で撮影し保管しておいてください。研究室から作品写真の配付は行いません。

S	空間演出デザインIII-3 空間構想・実空間の想像と創造	科目コード： 74109
配当年次	2年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインIII-3(空間構想・実空間の想像と創造)K 開催日程：2019年10月12日（土）～ 2019年10月13日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：40 空間演出デザインIII-3(空間構想・実空間の想像と創造)T 開催日程：2019年8月17日（土）～ 2019年8月18日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：55	
担当者	八木良太（京都）、春日部幹（東京）、川合健太* 他	

科目概要と到達目標

原寸（実物大）の課題制作を通して、建築設計や空間デザインにおける空間創造のためのヒントをつかみ、設計における身体感覚、基礎的造形力、環境洞察力を養う科目です。建築の周辺分野（測量や空間把握）にも視野を広げることで、空間と周辺環境との関わりをあらためて見つめ直すとともに、原寸でのスケールにもとづいた計画を体験することで空間設計の諸問題に対して新しい視点を育むことを到達目標とします。

※デザイン基礎課程のForum Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 情報調査・分析力
4. 構想
5. デザインへ至る論理構成（説得力）
6. プレゼンテーション

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

課題

●課題名

「もてなしのカタチ」

●内容

1～2人程度が中に入ることができる小さな空間作品を、加工しやすい素材を用いて、原寸でつくりあげます。空間の構成要素としては床、壁、柱、屋根などの構造体に加え、空間のテーマや機能に応じた家具や建具、装飾、サインなども含まれます。

空間作品の制作はグループワークの形式で行います。まずグループ内で各自の事前課題を基に、実施案のテーマについてディスカッションを行います。合わせて、キャンパス内をフィールドワークして設置場所を決定し、その場所の特性を測量・観察などによって調査します。次に、フィールドワークの成果や話し合いから生まれた新しいアイデアを加えて、実施案の制作方法やデザインをスタディします。最終的にグループのメンバーが協力・分担して、その場所にふさわしい1つの空間作品を制作し、完成させます。

また、各自がその作品のコンセプト、図面、スケッチなどをプレゼンボードに美しくレイアウトしてまとめます。

●制作条件

- ・ airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・ 空間作品は原寸の模型ではなく実際の空間（実空間）として、機能的・強度的に成立するようにしてください（床は載っても壊れないように、椅子は座れるように作ってください）。
- ・ 敷地はキャンパス内の教室、廊下、階段、屋外などに自由に設定し、実際にその場所に設置します。
- ・ 空間作品の素材はコースから支給するものを主としますが、各自が必要だと考える素材を補助的に追加してもよいものとします。また、既存の建物の壁や樹木、家具などを利用して構いません。
- ・ プレゼンボードに用いる写真はグループ内で共有しても構いません。ただし、コンセプト文章、図面、スケッチなどは自筆とします。

●最終成果物

- ・ 空間作品（グループで1つの作品を制作する）
- ・ プレゼンテーションボード（各自それぞれ作成する。A3サイズセント紙2枚）

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 課題説明、実施案スタディ制作
- 2講時 実施案スタディ
- 3講時 制作
- 4講時 制作
- 5講時 制作

●2日目

- 1講時 制作
- 2講時 制作
- 3講時 制作
- 4講時 プレゼンボード作成
- 5講時 講評会、作品撤去

受講にあたって

●持参物

□各自必ず持参

- 1 事前課題
 - 2 製図道具一式（『コースガイド』 pp. 28～29参照）
 - 3 模型制作用道具一式（『コースガイド』 pp. 28～29参照）
 - 4 コンベックス（巻尺）
 - 5 スケッチブック
 - 6 木工用ボンド（速乾性）
 - 7 デジタルカメラ（SDカードもしくはmicroSDカード対応のもの）
- ※上記以外にもスマートフォンなどのカメラ付携帯端末でmicroSDカード対応のものは可
※データを読み込み可能なカードリーダーを持参する場合はその他の形式のカメラも可

□コースから貸出

- 1 ケント紙（A2）／ 1枚
- 2 ひも適宜（ビニールロープ）／約20m
- 3 ガムテープ
- 4 製図板
- 5 ステンレス定規（60cm）

□コースから一括購入して支給

- 1 ダンボール（ダブル1200×1100mm）／ 1グループあたり8枚

●諸経費

「コースから一括購入して支給」の材料代は、大学指定の口座より後日引き落としとなります。
材料の合計金額は800円程度（2018年度実績）になる予定です。

注意事項

●スクーリングの服装について

実測や教室外での作業を伴いますので、動きやすい服装を着用してください。

●スクーリングで制作した作品の保存

スクーリングで制作した作品は、課題作品集を作成する際に必要となりますので、教室に用意された撮影ブース、もしくは自宅にて各自で撮影し保管しておいてください。研究室から作品写真の配付は行いません。

S	空間演出デザインⅣ－1 メディア表現と空間演出	科目コード： 74110
配当年次	2年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインⅣ－1(メディア表現と空間演出)K 開催日程：2019年7月27日（土）～ 2019年7月28日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：55 空間演出デザインⅣ－1(メディア表現と空間演出)T 開催日程：2020年2月22日（土）～ 2020年2月23日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：40	
担当者	八木良太（京都）、山城大督（東京）、上田篤* 他	

科目概要と到達目標

空間を演出する二大要素である光と音について、空間へ与える演出効果を実践を通して学ぶ科目です。空間演出において視覚に訴えかける光と聴覚に訴えかける音、それぞれの空間への影響を身体を通じて学び、今後の制作やデザインへ応用できる知識と感覚の習得を到達目標とします。
※デザイン基礎課程のLab. Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題の理解
4. 発想、構想
5. 最終成果物

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

課題

●課題名

「空間演出のレッスン」

●課題内容

光や音といったメディア表現による演出効果について、いくつかの実験を通して学びます。暗闇の中で立体物に対して照明器具を用いたライティングやプロジェクションの実習を行い、光と空間、光と影、モノそれぞれの関係とそれを通したコミュニケーションについて学びを深めます。加えて、聴く行為も交えながら音と空間、音と環境についても考察します。

※補足

1日目には、簡単な映像と音に関するレクチャーとワークショップを行い、2日目には、模造紙などを用いて空間を作り、プロジェクターやスピーカー、スマートフォンで演出を試みます。

●制作条件

- ・パソコンを使った授業です。ノート型パソコンにソフトウェア（Adobe Creative Cloudの「Premiere Pro CC」）をインストールした上で必ず持参してください。
- ・airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したデータ等をスクーリングへ持参してください。
- ・メディア表現による実験が主体の授業となります。
- ・データの持参、バックアップのためのUSBフラッシュメモリを忘れず持参してください。

●最終成果物

- ・光、映像を使った表現
- ・音を使った表現
- ・レポート

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 映像のレクチャー
- 2講時 映像のワークショップ
- 3講時 音のレクチャー
- 4講時 音のワークショップ
- 5講時 翌日に向けたブレインストーミング、まとめ

●2日目

- 1講時 映像と音のインスタレーションの説明、空間づくり
- 2講時 空間づくり
- 3講時 空間に音と映像をインストールする
- 4講時 空間鑑賞、合評
- 5講時 授業感想レポート作成、まとめ

受講にあたって

●持参物

☐各自必ず持参

- 1 事前課題と指示されたもの一式
- 2 ノート型パソコン（ACアダプタ、マウス等の周辺機器含む）
※Adobe Creative Cloudから「Premiere Pro CC」をインストールし、起動することを確認した状態で持参すること。
- 3 学内LAN利用アカウント（『学習ガイド』p.91参照）
- 4 筆記用具
- 5 カッター（小）
- 6 はさみ
- 7 スケッチブック
- 8 デジタルカメラもしくはカメラ付スマートフォン
※自身のパソコンにデータ読み込み可能なものに限る
※データを読み込みに必要なケーブルやカードリーダーは各自で持参すること

☐可能な限り持参

- 1 スマートフォン（映像録画や音声記録ができデータ抽出が可能なもの）

☐コースから貸出

- 1 プロジェクター
- 2 スポットライト
- 3 アクティブスピーカー
- 4 延長コード

☐コースから一括購入して支給

- 1 模造紙
- 2 養生テープ

●諸経費

「コースから一括購入して支給」の材料代は、大学指定の口座より後日引き落としになります。材料の合計金額は1,000円程度（2018年度実績）の予定です。

注意事項

●スクーリングの服装について

教室内外での作業を伴いますので、動きやすい服装を着用してください。

●持参するノート型パソコンについて

『コースガイド』pp.26～27及びairUキャンパス>コースサイトを参照し、用意したノート型パソコンにコースで使用するソフトウェア(Adobe Creative Cloud)をインストールし、起動することを確認した上で持参するようにしてください。

●スクーリングで制作した作品の保存

スクーリングで制作した作品は、課題作品集を作成する際に必要となりますので、デジタルカメラやスマートフォン、ビデオカメラ等を使って各自で撮影し保管しておいてください。研究室から作品写真の配付は行いません。

S	空間演出デザインⅣ－2 素材表現とデザイン	科目コード： 74111
配当年次	2年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインⅣ－2(素材表現とデザイン)K 開催日程：2020年1月18日（土）～ 2020年1月19日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：40 空間演出デザインⅣ－2(素材表現とデザイン)T 開催日程：2019年11月23日（土）～ 2019年11月24日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：40	
担当者	岡本正人（京都）、吉添裕人（東京）、川合健太*、他	

科目概要と到達目標

立体デザインにおける様々な素材の持つ性質を見出し、その魅力を再開発し、それを用いた新しいデザインや表現の創出を試みる科目です。日常で何気なく触れている実素材の中からその特性を再発見し、新しい表現に結びつけるための多角的な観察力、柔軟な構想力の習得を到達目標とします。
※デザイン基礎課程のLab. Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題の理解
4. 発想、構想
5. 最終成果物
6. プレゼンテーション

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	『ファンタジア』みすず書房

課題

●課題名

「素材から考えるデザイン」

●課題内容

現代では新しい素材が日々生み出されています。既成の素材も同様に、それらはいろいろな可能性を持っていますが、その可能性が未だ発見されず、うまく利用されていないケースもあるのではないのでしょうか。これらの素材の可能性や魅力を見だし、新しい展開を考えることも、デザイナーの視点のあり方には欠かせないことと言えます。

この課題では、まず身の回りの素材を観察し、その性質を自分なりに見いだすことから始めます。さらに、その性質を利用した新しいデザインや表現への展開方法について考えます。

素材と向き合いながらオリジナルな視点をつくりだすことで、その対象にしかない独自のアプローチを探し出してもらいます。そのような視点の行き来を繰り返すトレーニングです。

●制作条件

- ・ airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・ 事前課題で取り扱った複数の素材を持参していただきますので、安価で大量に入手しやすい素材をうまく見つけてきましょう。（例：竹ぐし、クリップ、マグネット、紙コップ、プラスチック容器など）
- ・ 持参する素材の材質に適した接着剤を持参することが望ましいです。
- ・ パソコンを使った簡単なプレゼンテーションにも取り組みます。ノート型パソコンにソフトウェア（Adobe Creative Cloud）をインストールした上で必ず持参してください。

●最終成果物

- ・ 立体制作物
- ・ 上記を撮影して加工したプレゼンテーションデータ

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 課題説明
- 2講時 課題制作、事前課題の確認
- 3講時 課題制作
- 4講時 課題制作
- 5講時 中間チェック

●2日目

- 1講時 課題制作
- 2講時 課題制作
- 3講時 課題制作、写真撮影
- 4講時 写真撮影、発表準備
- 5講時 講評会

受講にあたって

●持参物

□各自必ず持参

- 1 事前課題
 - 2 ノート型パソコン（ACアダプタ、マウス等周辺機器を含む）
 - 3 学内LAN利用アカウント（『学習ガイド』p.91参照）
 - 4 模型制作用道具一式（『コースガイド』pp.28～29参照）
 - 5 デジタルカメラもしくはカメラ付スマートフォン
- ※自身のパソコンにデータ読み込み可能なものに限る
※データを読み込みに必要なケーブルやカードリーダーは各自で持参すること
- 6 制作材料及び素材
 - 7 スケッチブック
 - 8 筆記用具

☐コースから貸出

- 1 カッティングマット（A2）
- 2 ステンレス定規（60cm）
- 3 スプレーのり

☐可能な限り持参

- 1 バックアップ用メディア（USBメモリなど）
- 2 各自選んだ素材の加工に必要と思われる道具
- 3 延長コード

注意事項

●持参するノート型パソコンについて

・『コースガイド』pp.26～27及びairUキャンパス>コースサイトを参照し、用意したノート型パソコンにコースで使用するソフトウェア(Adobe Creative Cloud)をインストールし、起動することを確認した上で持参するようにしてください。

●作業データの保存について

・スクーリング期間中のデータのバックアップ等のため、USBフラッシュメモリ(推奨:1GB以上)などのメディアを持参してください。また完成データは課題作品集を作成する際にも必要となりますので大切に保管しておいてください。

S	空間演出デザインⅣ－3 CAD表現基礎3D	科目コード： 74112
配当年次	2年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインⅣ－3(CAD表現基礎3D)K 開催日程：2019年12月14日（土）～ 2019年12月15日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：40 空間演出デザインⅣ－3(CAD表現基礎3D)T 開催日程：2019年12月21日（土）～ 2019年12月22日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：40	
担当者	寺尾文秀（京都）、松尾宗則（東京）、上田篤* 他	

科目概要と到達目標

住空間の設計を題材として、3Dモデル作成ソフト「SketchUp Pro」の三次元基本ツールを用いた3Dモデリングの基礎を理解し、コンピュータを使った三次元空間のスタディの基礎技法を学ぶ科目です。基礎的操作や簡単なCG作成といったプレゼンテーション力の習得に加え、建築設計や空間デザインの設計プロセスで有効なCADを用いた三次元空間のスタディ手法についての理解を到達目標とします。
※デザイン基礎課程のLab. Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題および3Dモデル作成ソフト操作の理解
4. 構想
5. 応用力
6. プレゼンテーション

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	『やさしく学ぶSketchUp』 エクスナレッジ

課題

●課題名

「三次元空間のスタディ」

●内容

空間というものは三次元であり、図面では把握できない部分が実際の空間に大きな影響を与えることがあります。いかにきちんと図面を書いている、三次元でのスタディは欠かせず、そのための手法として、パース（透視図）や模型、3DCGがあります。ここでは「SketchUp Pro」を用いた3DCGによって三次元ボリュームの操作を通じた空間構想を実践します。

しかし、三次元空間での構想を3DCGのみで行うためにはかなりの熟練を要します。そのため空間構想の初期段階は、手描きで大胆にスケッチやエスキスを繰り返すことが発想のきっかけをつかむためには不可欠ですので、それらを交えながら構想を進めます。

このスクーリングでは3Dモデル作成ソフト「SketchUp Pro」を用います。まず基本操作を確認した後、三次元描画の基礎を習得します。その後、実際にバーチャルな三次元空間に飛び込んでいきます。

●制作条件

- ・ airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・ ノート型パソコンにソフトウェア（SketchUp Pro2019Jエデュケーショナルライセンス※）をインストールした上で必ず持参してください。
- ・ 各自で参考文献を読むなどして基本操作はどんなことができるのか感覚的につかんでおくと、スクーリングに慣れやすいでしょう。
- ・ データの持参、バックアップのためのUSBフラッシュメモリを忘れず持参してください。
- ・ 作業効率を上げるにはマウスは必須です。忘れずに持参してください。
- ・ 外付けのテンキーがあると非常に便利です。

※SketchUp Pro2019Jエデュケーショナルライセンスの販売開始は6月以降を予定しています。

※10月以降に購入する場合、入学許可証の提示、在学証明書の発行・提示などが必要となりますので、6月販売開始以降9月末までの購入を推奨します。

●最終成果物

- ・ 制作データと出力物（A3サイズ）

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

- 1講時 事前課題の確認、CAD 3Dオリエンテーション
- 2講時 三次元操作方法の基本
- 3講時 三次元操作方法の基本
- 4講時 三次元シミュレーション実習
- 5講時 課題制作

●2日目

- 1講時 課題制作
- 2講時 課題制作
- 3講時 課題制作、仕上げ
- 4講時 発表準備、講評会
- 5講時 講評会

受講にあたって

●持参物

□各自必ず持参

- 1 事前課題
- 2 ノート型パソコン（ACアダプタ、マウス等の周辺機器含む）
- 3 学内LAN利用アカウント（『学習ガイド』p.91参照）
- 4 三角スケール
5. 筆記用具
- 6 スケッチブック
- 7 USBフラッシュメモリ（推奨：1GB以上）

□各自可能な限り持参

- 1 延長コード

□コースから貸出

- 1 カラープリンター

注意事項

●持参するノート型パソコンについて

『コースガイド』pp.26～27及びairUキャンパス>コースサイトを参照し、用意したノート型パソコンにソフトウェア（SketchUp Pro2019Jエデュケーションライセンス※、Adobe Creative Cloud）をインストールし、起動することを確認した上で持参するようにしてください。

※SketchUp Pro2019Jエデュケーションライセンスの販売開始は6月以降を予定しています。

※10月以降に購入する場合、入学許可証の提示、在学証明書の発行・提示などが必要となりますので、6月販売開始以降9月末までの購入を推奨します。

●作業データの保存について

スクーリング期間中のデータのバックアップ等のため、USBフラッシュメモリ（推奨：1GB以上）などのメディアを持参してください。また完成データは課題作品集を作成する際にも必要となりますので大切に保管しておいてください。

●パソコンでの表現力を向上させるために

スクーリングの受講はソフトウェア導入のきっかけでもあり、この授業だけで全ての機能を習得できるわけではありません。ソフトウェアを使いこなすためには常日頃から使用し続けることが一番の近道です。

S	空間演出デザインV-1 すまいの空間構想	科目コード： 74113
配当年次	3年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	スクーリング申込までに「空間演出デザイン基礎1」「空間演出デザイン演習II-1」を合格済であること。 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※ 「空間演出デザインV-1 ～10」の中から6つ選択履修してください。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインV-1(すまいの空間構想)K 開催日程：2019年6月8日（土）～ 2019年6月9日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25 空間演出デザインV-1(すまいの空間構想)T 開催日程：2019年9月21日（土）～ 2019年9月22日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25	
担当者	向阪一郎（京都）、川合健太*（東京）、他	

科目概要と到達目標

都市部の敷地内に建つ木造2階建住宅の計画を通して、住空間の設計プロセスを学ぶ科目です。現代のライフスタイルや住宅について考察し、計画に必要な諸条件を満たした上で、外部・内部空間のみならず周辺環境や、法規、構造といった側面も考慮した魅力的で豊かな住空間を構想する力の習得を到達目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題の理解度
4. 最終成果物の内容およびプレゼンテーション
5. 着眼点の新規性

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『新しい建築の製図』、『インテリア計画の知識』
参考文献・URL	『図解ニッポン住宅建築』学芸出版社

課題

●課題名

「土間のある家」

●内容

日本では家に入るとき、履物を脱いで素足で上がります。雨が多く、高温多湿な気候風土から生まれたという、世界各地でも類を見ないこの習慣は、日本特有の住空間を育んできました。そうした住空間の特徴の一つに「土間」があります。京都の典型的な町家には、表通りから家の裏に抜ける「通り庭」がありますが、これもまた「土間」の一種です。屋内でありながら屋外のような使い方ができるスペースで、家の中と外をつなぐ中間領域のような役割として、非常に汎用性が高い空間であるといえます。この科目では、「土間のある家」と題し、現代の暮らしにおける「土間」の活用を考えた住空間の設計に取り組んでもらいます。（計画の対象となる敷地や諸条件は課題条件として与えられます）

●制作条件

- ・airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・敷地面積180㎡の土地に、木造2階建、延床面積110～140㎡の住宅を企画、計画します。
- ・事前課題に取り組む上で使用したスケッチや模型、参考資料などがあれば積極的にスクーリングへ持参してください。
- ・図面及びエスキス模型は縮尺1/50で制作します。
- ・このスクーリングでは、空間構想のエスキス用として模型を用います。スクーリングの時間配分を考慮すると、模型の質感をリアルに表現し過ぎるよりも、抽象的な白模型などをベースにした模型材料を選定する方がうまくいくと考えています。

●最終成果物

- ・図面（A3サイズ）（縮尺1/50、1/100）
- ・エスキス模型（縮尺1/50）

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

※事前課題を持参しない者は、スクーリングを受講することができません。

●1日目

- 1講時 課題説明、事前課題の確認
- 2講時 計画の補正、エスキス（模型・図面）
- 3講時 エスキス（模型・図面）
- 4講時 エスキス（模型・図面）
- 5講時 製図

●2日目

- 1講時 製図
- 2講時 製図
- 3講時 プレゼンテーションの仕上げ

受講にあたって

●持参物

□各自必ず持参

- 1 事前課題（原寸で印刷したもの）
- 2 製図道具一式（『コースガイド』pp.28～29）
- 3 模型制作用道具一式（『コースガイド』pp.28～29）
- 4 彩色道具（マーカー等）※使用する方のみ
- 5 デジタルカメラ（SDカードもしくはmicroSDカード対応のもの）使用する方のみ
※上記以外にもスマートフォンなどのカメラ付携帯端末でmicroSDカード対応のものは可
※データを読み込み可能なカードリーダーを持参する場合はその他の形式のカメラも可
- 6 スケッチブック
- 7 成果物持ち帰り用の箱など（「その他」の欄を参照）

□可能な限り持参

- 1 ノート型パソコン（ACアダプタ、マウス、延長コード等の周辺機器含む。デジタルでの制作希望者のみ）
- 2 ロールトレーシングペーパー

□コースから貸出

- 1 製図板
- 2 T定規
- 3 カッティングマット（A2）
- 4 ステンレス定規（60cm）
- 5 カラープリンター（デジタルでの制作者用）

□コースから支給

- 1 ケント紙（A3）4枚
- 2 プリンター用紙（A3）

●諸経費

模型材料は制作していく上で各自、大学内の購買部、もしくは画材屋等で購入してください。

注意事項

●パソコンでの制作を希望される方へ

このスクーリングではパソコンの持参は必須ではありませんが、パソコンを使った制作を希望される方は持参して構いません。A3サイズの出力ができる環境としています。

●スクーリングで制作した作品の保存

スクーリングで制作した作品は、課題作品集を作成する際に必要となりますので、教室に用意された撮影ブース、もしくは自宅にて各自で撮影し保管しておいてください。研究室から作品写真の配付は行いません。

S	空間演出デザインⅤ-2 ショップデザイン 科目コード： 74114
配当年次	3年次～
単位数	1
履修の前提条件	スクーリング申込までに「空間演出デザイン基礎1」「空間演出デザイン演習II-1」を合格済であること。 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※「空間演出デザインⅤ-1 ～10」の中から6つ選択履修してください。
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインⅤ-2(ショップデザイン)K 開催日程：2019年4月27日（土）～ 2019年4月28日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：25 空間演出デザインⅤ-2(ショップデザイン)T 開催日程：2019年5月4日（土）～ 2019年5月5日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：25
担当者	近藤英夫（京都）、榊田倫之（東京）、上田篤* 他

科目概要と到達目標

鉄骨造の商業施設を題材に、「コンセプトストアを設計する」というテーマで商空間のリノベーション計画について学ぶ科目です。多様な価値観が存在する都市において消費者を惹き付ける魅力的な空間デザインを試みます。限られた条件の中での空間構想に必要なバランス感を持った計画力とその表現スキル、鉄骨造の建物におけるリノベーション手法、商空間のための単位空間や基本寸法、動線計画、ゾーニング等の計画知識の習得を到達目標とします。実在する物件のリノベーションを店舗の業態等の計画から設計まで取り組むことで商空間の活性化を学び、現代社会における商空間デザインの意義を考えます。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題の理解度
4. 空間デザインの企画内容、リアリティ
5. 着眼点の新規性
6. プレゼンテーション表現（模型、図面、発表含む）

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『新しい建築の製図』、『インテリア計画の知識』
参考文献・URL	『木造・S造・RC造ディテール集』エクスナレッジムック 『第3版コンパクト建築設計資料集成』丸善

課題

●課題名

「コンセプトストアを設計する」

●内容

都市にあるビルのテナントとして、コンセプトストアを設計してください。ただ、品物を揃えてレイアウトする店でなく、コンセプトを立て、それに合う商品や空間を考えストア全体で演出しなければなりません。どのような商品を選ぶのか、ということも自由に選択してください。例えば、「自然」をテーマにして、有機素材でつくられた食材やそれに合う器、関連する書籍などを商品とし、さらに食材を生かした料理を提供できるカフェを併設するストアを考えることもできるでしょう。また、好きなデザイナーを選び、その人の作品世界を知ることができる空間をデザインし、その中で作品やグッズを買うことができる、というようなストアも考えられるでしょう。コンセプトやストアの構成など、すべて自由に設定して構いません。楽しいストアを発想してください。ただし、テナントが入る商業ビルは、課題条件として与えられます。

●制作条件

- ・airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・延床面積約150㎡の二階建店舗にコンセプトストアを企画、設計します。
- ・最終的な図面や模型は縮尺1/50で制作します。
- ・コンセプトストアとは一つの考え方で、ジャンルにとらわれず飲食から物販まで幅広く営業している店舗をいいます。例えば、家具を売っているお店でその家具を使ったレストラン、服飾のお店でそのイメージをインテリアに展開したカフェなどがあります。物販のコンセプトを理解してもらうと同時に、長く滞在してもらうこと、そのブランドのファンになってもらうことを目的としています。売っているものは「物」とは限りません。自分の生活から発見した新しいアイデアを期待しています。

●最終成果物

- ・図面(A2サイズ)2枚
- ・模型(縮尺1/50)1点

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

※事前課題を持参しない者は、スクーリングを受講することができません。

●1日目

1講時 課題説明、事前課題の確認
2講時 計画の補正、エスキス再検討
3講時 エスキスの再検討、製図
4講時 製図
5講時 製図、模型制作

●2日目

- 1講時 模型制作
- 2講時 模型制作
- 3講時 図面と模型の仕上げ
- 4講時 発表準備
- 5講時 講評会

受講にあたって

●持参物

□各自必ず持参

- 1 事前課題及び事前課題で指示されたもの一式
- 2 製図道具一式（『コースガイド』pp.28～29参照）
- 3 模型制作作用道具一式（『コースガイド』pp.28～29参照）
- 4 彩色道具（マーカー等）※使用する方のみ
- 5 デジタルカメラ（SDカードもしくはmicroSDカード対応のもの）※使用する方のみ
※上記以外にもスマートフォンなどのカメラ付携帯端末でmicroSDカード対応のものは可
※データを読み込み可能なカードリーダーを持参する場合はその他の形式のカメラも可
- 6 スケッチブック
- 7 成果物持ち帰り用の箱など

□可能な限り持参

- 1 ノート型パソコン（ACアダプタ、マウス、延長コード等の周辺機器含む。デジタルでの制作希望者のみ）
- 2 ロールトレーシングペーパー

□コースから貸出

- 1 製図板
- 2 T定規
- 3 カッティングマット（A2）
- 4 ステンレス定規（60cm）
- 5 カラープリンター（デジタルでの制作者用）

□コースから支給

- 1 ケント紙（A2）2～3枚
- 2 プリンター用紙（A3）

●教材

●諸経費

模型材料は制作していく上で各自、大学内の購買部、もしくは画材屋等で購入してください。

注意事項

●パソコンでの制作を希望される方へ

このスクリーニングではパソコンの持参は必須ではありませんが、パソコンを使った制作を希望される方は持参して構いません。A3サイズの出力ができる環境としています。

●スクーリングで制作した作品の保存

スクーリングで制作した作品は、課題作品集を作成する際に必要となりますので、教室に用意された撮影ブース、もしくは自宅にて各自で撮影し保管しておいてください。研究室から作品写真の配付は行いません。

S	空間演出デザインⅤ－3 ライティングデザイン	科目コード： 74115
配当年次	3年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	スクーリング申込までに「空間演出デザイン基礎1」「空間演出デザイン演習II-1」を合格済であること。 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※「空間演出デザインⅤ-1～10」の中から6つ選択履修してください。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインⅤ－3(ライティングデザイン)K 開催日程：2019年8月17日（土）～ 2019年8月18日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：25 空間演出デザインⅤ－3(ライティングデザイン)T 開催日程：2019年6月22日（土）～ 2019年6月23日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：25	
担当者	上田篤*（京都）、榊田倫之（東京）他	

科目概要と到達目標

空間における光と影の関係を考察し、光のデザインや演出手法について、模型制作によるシミュレーションを通して学ぶ科目です。自身の構想する空間イメージの表現方法と各種照明による効果的な光の空間演出方法の理解を到達目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題の理解
4. 最終成果物の内容
5. プレゼンテーションへの取り組み

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

課題

●課題名

「空間を光によって演出する」

●内容

スチレンボード等によってつくられた真っ白なインテリア空間を、高輝度白色LEDと青色LEDを用いて、光（各種照明）によるインテリア空間の演出手法のシミュレーションを試みます。建築は内部と外部を同時に持つものですが、原初的には内部にいる人のための空間をどのように作り出すかということにありました。この制作では外部を切り離して美しい内部空間をつくります。演出のテーマは各自の選んだ曲の一節からタイトルを付け制作します。現実から離れてもかまいませんが、内部空間であるということを忘れずに人物などの任意のスケールを各自で設定してください。白だけで（白色や透ける素材であれば何でもかまいません）光と影のモノクロームの空間をつくり、そこにLEDを使ってさらに光の演出を加えていきます。光と影はさらに強調されていきます。空間内の光の質を深く追求し、最終的にはスケールに合わせた人を配置した模型を完成させます。

LEDは消費電力1/10、高寿命など環境負荷の低さが注目されている次世代の光源です。この授業では、急速に普及しつつあるLEDを使い、模型としてのインテリア空間をシミュレーションして、空間の演出を試みます。

※LED (Light Emitting Diode) = 発光ダイオード

●制作条件

- ・ airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・ 制作するサイズは以下の通り指定しますが縮尺は自由とします。自分が設定した縮尺の世界で空間を構想してください。
- ・ 光のシミュレーションをする空間はA1判(600×900mm)のスチレンボード(5mm厚)で制作可能な大きさもしくは以下の【1】～【3】のサイズから選択していただきます。構想する空間に合わせて選択してください。尚、縮尺を考慮した実寸の寸法を参考に記しておきます。（【1】～【3】を90度回転させて縦使いにしても構いません。）

↓箱のサイズ(単位mm) 縮尺1/10の場合・縮尺1/20の場合・縮尺1/50の場合

- 【1】 W300×D300×H300 3M×3M×3M・6M×6M×6M・15M×15M×15M
- 【2】 W450×D225×H300 4.5M×2.25M×3M・9M×4.5M×6M・22.5M×11.25M×15M
- 【3】 W600×D200×H300 6M×2M×3M・12M×4M×6M・30M×10M×15M

※W=幅、D=奥行、H=高さ

●最終成果物

- ・ 光のシミュレーション模型

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

※事前課題を持参しない者は、スクーリングを受講することができません。

●1日目

- 1講時 課題説明、講義「光と影と空間」、事前課題の確認
- 2講時 エスキス再検討、LED接続説明
- 3講時 制作
- 4講時 制作
- 5講時 中間チェック、制作

●2日目

- 1 講時 制作
- 2 講時 制作
- 3 講時 制作
- 4 講時 制作、発表準備
- 5 講時 講評会

受講にあたって

●持参物

□各自必ず持参

- 1 事前課題および事前課題で指示されたもの一式
 - 2 製図道具一式（『コースガイド』 pp. 28～29参照）
 - 3 模型制作用道具一式（『コースガイド』 pp. 28～29参照）
 - 4 彩色道具（マーカー等）※使用する方のみ
 - 5 スケッチブック
 - 6 デジタルカメラ（SDカードもしくはmicroSDカード対応のもの）
- ※上記以外にもスマートフォンなどのカメラ付携帯端末でmicroSDカード対応のものは可
※データを読み込み可能なカードリーダーを持参する場合はその他の形式のカメラも可

□コースで一括購入して支給

- 1 LED6ケ（白）
- 2 LED2ケ（青）
- 3 リード線2m程度
- 4 可変抵抗20Ω1ケ
- 5 単3電池3本
- 6 電池ホルダー1ケ
- 7 クリップ2本

□コースから貸出

- 1 カッティングマット（A2）
- 2 ステンレス定規（60cm）
- 3 はんだごて（小）
- 4 千枚通し
- 5 ワイヤーストリッパー
- 6 サークルカッター
- 7 虫ピン

□コースから支給

- 1 ケント紙（A2）1枚
- 2 縮尺別の人影

●諸経費

「コースで一括購入して支給」の材料代は、大学指定の口座より後日引き落としとなります。材料の合計金額は1,300円程度（2018年度実績）の予定です。

注意事項

●スクーリングで制作した作品の保存

スクーリングで制作した作品は、課題作品集を作成する際に必要となりますので、教室に用意された撮影ブース、もしくは自宅にて各自で撮影し保管しておいてください。研究室から作品写真の配付は行いません。

S	空間演出デザインⅤ－4 エキシビションデザイン	科目コード： 74116
配当年次	3年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	スクーリング申込までに「空間演出デザイン基礎1」「空間演出デザイン演習II-1」を合格済であること。 ※「空間演出デザインⅤ-1～10」の中から6つ選択履修してください。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインⅤ-4(エキシビションデザイン)K 開催日程：2019年7月20日（土）～ 2019年7月21日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：25 空間演出デザインⅤ-4(エキシビションデザイン)T 開催日程：2019年6月1日（土）～ 2019年6月2日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：25	
担当者	北原和規（京都）、田丸靖史（東京）、川合健太* 他	

科目概要と到達目標

「見せ方」「伝え方」が重要である展示空間のデザインを学びます。指定されたテーマに基づき、展示空間のデザイン、ディレクションを行い、その方向性に沿った展示アイデアを模型や図面、スケッチを使用しながらシミュレーションを行います。基礎的な立体構成をもとに、対象物を魅力的に展示、演出するための思考方法及び空間とビジュアルデザインの関係性の理解、空間構成方法の習得を到達目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 調査・分析力
4. 構想（発想、構成、計画）及び表現
5. プレゼンテーション

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

課題

●課題名

「展示空間をデザインする」

●課題内容

「見せ方」「伝え方」が重要である展示空間のデザインに取り組みます。公共性のある空間（デパートのホール、駅前空間など）において、3日間だけ開催するイベントの中の仮設ブースでプロモーションする商品の展示デザイン、ディレクションを依頼されたと仮定してその展示空間の計画を行います。展示する内容に呼応したビジュアルデザインなども効果的に用いながら、魅力の伝わる展示空間を探求しましょう。

●制作条件

- ・airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・デザインする展示空間の大きさは、幅6m奥行き3mとし、高さは4mまでならば使用可能です。
- ・模型は1/20の縮尺で制作します。
- ・照明計画は展示空間上部から適切に行える前提として考えてください。

●最終成果物

- ・展示企画プレゼンテーションシート（A3サイズ）2枚
- ・展示空間模型（縮尺1/20）

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

※事前課題を持参しない者は、スクーリングを受講することができません。

●1日目

- 1講時 課題説明、事前課題の確認
- 2講時 計画の補正、エスキス再検討
- 3講時 エスキスの再検討、製図
- 4講時 製図
- 5講時 製図、模型制作

●2日目

- 1講時 模型制作
- 2講時 模型制作
- 3講時 図面と模型の仕上げ
- 4講時 発表準備
- 5講時 講評会

受講にあたって

●持参物

□各自必ず持参

- 1 事前課題および事前課題で指示されたもの一式
- 2 製図道具一式（『コースガイド』pp.28～29参照）
- 3 模型制作道具一式（『コースガイド』pp.28～29参照）
- 4 彩色道具（マーカー等）※使用する方のみ

5 デジタルカメラ（SDカードもしくはmicroSDカード対応のもの）

※上記以外にもスマートフォンなどのカメラ付携帯端末でmicroSDカード対応のものは可

※データを読み込み可能なカードリーダーを持参する場合はその他の形式のカメラも可

6 スケッチブック

7 作品持ち帰り用の箱など

☐ 可能な限り持参

1 ノート型パソコン（ACアダプタ、マウス、延長コード等の周辺機器含む。デジタルでの制作希望者のみ）

☐ コースから貸出

1 カッティングマット（A2）

2 ステンレス定規（60cm）

3 カラープリンター（デジタルでの制作者用）

☐ コースから支給

1 ケント紙（A3）2～3枚

2 プリンター用紙（A3）

注意事項

● パソコンでの制作を希望される方へ

このスクーリングではパソコンの持参は必須ではありませんが、パソコンを使った制作を希望される方は持参して構いません。A3サイズの出力ができる環境としています。

● スクーリングで制作した作品の保存

スクーリングで制作した作品は、課題作品集を作成する際に必要となりますので、教室に用意された撮影ブース、もしくは自宅にて各自で撮影し保管しておいてください。研究室から作品写真の配付は行いません。

S	空間演出デザインV-5 デザインマネジメント	科目コード： 74117
配当年次	3年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	スクーリング申込までに「空間演出デザイン基礎1」「空間演出デザイン演習II-1」を合格済であること。 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※「空間演出デザインV-1～10」の中から6つ選択履修してください。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインV-5(デザインマネジメント)K 開催日程：2019年6月29日（土）～ 2019年6月30日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25 空間演出デザインV-5(デザインマネジメント)T 開催日程：2019年7月6日（土）～ 2019年7月7日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：25	
担当者	津田井美香（京都）、川口裕太（東京）、上田篤* 他	

科目概要と到達目標

近年注目されている、デザインを活用した企業戦略や商品開発の実例を踏まえ、消費者に対して意味（魅力）のある価値を提案するブランディングデザインについて学ぶ科目です。「リ・ブランディング」をテーマとした演習を通じて、デザインによるブランディングの方法論の理解と実践する力の習得を到達目標としています。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題の理解
4. デザインリサーチによる問題点の把握と情報整理
5. コンセプト立案およびデザイン表現
6. 立案から制作までの工程管理・完成度
7. プレゼンテーション

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
------	----

課題

●課題名

「リ・ブランディング」

●内容

授業のはじめに、まず何の予備知識もない状態で制作した事前課題の発表を行います。その後、実際のデザインによるブランディングの事例紹介を通して、デザインマネジメントの概論を講義します。講義後、ある対象を発表し、その対象のリ・ブランディングの設計を行います。対象の現状とそれを取り巻く市場環境を調査／分析した上で、なぜその対象がうまくいっていないかの原因を特定していきます。そして、その後、具体的な解決策としてデザインを活用した新たな「企画」を立案します。Adobe IllustratorやPhotoshopを使用して、その企画を実際に「デザイン」してみることで、リ・ブランディングのケーススタディーを行います。柔軟な発想で、デザインの自由な活用法を一緒に考えていきましょう。

●制作条件

- ・airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・ある商品のリ・ブランディング企画を検討する課題です。
- ・可能であればノート型パソコンを用いて企画提案書をまとめることを推奨します。その場合は、ノート型パソコンにソフトウェア（Adobe Creative Cloud）をインストールした上で持参してください。

●最終成果物

- ・リ・ブランディング企画書（A4もしくはA3サイズ）

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

※事前課題を持参しない者は、スクーリングを受講することができません。

●1日目

- 1講時 課題説明、事前課題プレゼンテーション
- 2講時 講義「リ・ブランディング」
- 3講時 課題制作
- 4講時 課題制作
- 5講時 中間チェック、課題制作

●2日目

- 1講時 課題制作
- 2講時 課題制作
- 3講時 課題制作
- 4講時 課題制作
- 5講時 講評会

受講にあたって

●持参物

□各自必ず持参

- 1 事前課題および事前課題で指示されたもの一式

2 彩色道具（色鉛筆、マーカー等）※使用する方のみ

3 スケッチブック

4 筆記用具

5 学内LAN利用アカウント（『学習ガイド』p.91参照）

6 デジタルカメラ（SDカードもしくはmicroSDカード対応のもの）

※上記以外にもスマートフォンなどのカメラ付携帯端末でmicroSDカード対応のものは可

※データを読み込み可能なカードリーダーを持参する場合はその他の形式のカメラも可

☐可能な限り持参

1. ノート型パソコン（ACアダプタ、マウス、延長コード等の周辺機器含む）

2. USBフラッシュメモリ（推奨：1GB以上）

☐コースから貸出

1 カラープリンター（デジタルでの制作者用）

☐コースから支給

1 プリンター用紙

注意事項

●パソコンでの制作について

このスクーリングでは特に企画書の制作においてパソコン（Adobe Illustrator等）の使用を推奨します。2017年度以降に入学された方は可能な限り持参するようにしてください。A3サイズの出力ができる環境としています。2016年度以前に入学された方はアナログでの制作も可としますが、可能であればパソコンでの制作に挑戦していただきたいと思います。

●スクーリングで制作した作品の保存

スクーリングで制作した作品は、課題作品集を作成する際に必要となりますので、教室に用意された撮影ブース、もしくは自宅にて各自で撮影し保管しておいてください。研究室から作品写真の配付は行いません。

S	空間演出デザインⅤ－6 空間体験のデザイン	科目コード： 74118
配当年次	3年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	スクーリング申込までに「空間演出デザイン基礎1」「空間演出デザイン演習II-1」を合格済であること。 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※「空間演出デザインⅤ-1 ～10」の中から6つ選択履修してください。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインⅤ－6(空間体験のデザイン)K 開催日程：2019年9月7日（土）～ 2019年9月8日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：25 空間演出デザインⅤ－6(空間体験のデザイン)T 開催日程：2019年8月24日（土）～ 2019年8月25日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：25	
担当者	松倉早星（京都）、熊野森人（東京）、川合健太* 他	

科目概要と到達目標

床や壁、天井で囲まれた容器としての空間の計画ではなく、空間での人びとの過ごし方やアクティビティといった目に見えない出来事を具体的にイメージし、空間体験のデザインとして企画提案する科目です。社会の人びとの求めるニーズを考察し、共感と呼ぶ空間体験のデザインの企画提案を目指します。空間の使用シーンを念頭においた空間構想の理解を到達目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 調査・分析力
4. 考察、構想力
5. 企画提案力

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

課題

●課題名

「空間体験をデザインする」

●課題内容

現代の社会にはいつも満足のいく空間ばかりが用意されているとはいえません。一方的に新しい空間を作っても、そこに人びとのアクティビティが発生しない限りは、意味のないものになってしまいます。この授業では、床や壁、天井で囲まれた容器としての空間を計画するのではなく、空間での人びとの過ごし方やアクティビティといった目に見えない出来事を具体的にイメージすることを手始めとして、既存空間や屋外空間における新たな空間体験の提供について構想します。ここでいう体験とは、実際の空間で過ごす前や後を含めた、時間の経過、シーケンシャルな出来事も含めた体験を指します。

スクーリングの課題として扱う空間は、京都は瓜生山キャンパス人間館1階カフェ「BREATH KUAD」、およびテラス、東京は外苑キャンパスエントランスホールおよび中庭とします(一部を使用することも可)。そして、これらの既存空間や屋外空間における新たな空間体験の提供を構想します。

テーマは「日本の食文化」。あなたの暮らしている地域もしくは暮らしたい地域、暮らしていた地域の食文化を、全国各地からスクーリングに訪れる通信教育部の学生の皆さんにプロモーションすることになったと仮定しそれらに必要となる要素(ex. 空間を構成する材料、グラフィックデザイン、サービスなど)や空間の使用されるシーンについて、ビジュアルイメージを用いた企画提案書としてまとめます。既存空間の調査、分析を踏まえ、そこで繰り広げられる使用シーンを考察し、より多くの人びとの共感を呼び、賑わいを生み出す空間体験のデザインの提案を目指します。

●制作条件

- ・ airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・ この科目は対象とする空間を調査、分析した後、自身の提案する空間体験のコンセプトやプロモーション企画について企画提案書にまとめます。
- ・ 可能であればノート型パソコンを用いて企画提案書をまとめることを推奨します。その場合は、ノート型パソコンにソフトウェア (Adobe Creative Cloud) をインストールした上で持参してください。

●最終成果物

- ・ 企画提案書 (A4サイズ)

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

※事前課題を持参しない者は、スクーリングを受講することができません。

●1日目

- 1講時 課題説明、事前課題の確認
- 2講時 既存空間の調査、分析
- 3講時 課題制作
- 4講時 課題制作
- 5講時 課題制作

●2日目

- 1講時 課題制作
- 2講時 課題制作
- 3講時 課題制作

受講にあたって

●持参物

□各自必ず持参

- 1 事前課題および事前課題で指示されたもの一式
 - 2 筆記用具
 - 3 スケッチブック
 - 4 彩色道具（色鉛筆、マーカー等）※使用する方のみ
 - 5 学内LAN利用アカウント（『学習ガイド』p.91参照）
 - 6 デジタルカメラ（SDカードもしくはmicroSDカード対応のもの）
- ※上記以外にもスマートフォンなどのカメラ付携帯端末でmicroSDカード対応のものは可
※データを読み込み可能なカードリーダーを持参する場合はその他の形式のカメラも可

□可能な限り持参

- 1 ノート型パソコン（ACアダプタ、マウス、延長コード等の周辺機器含む）
- 2 USBフラッシュメモリ（推奨：1GB以上）

□コースから貸出

- 1 カラープリンター
- 2 カッティングマット
- 3 ステンレス定規（60cm）

□コースから支給

- 1 プリンター用紙

注意事項

●パソコンでの制作について

このスクーリングでは特に企画書の制作においてパソコン（Adobe Illustrator等）の使用を推奨します。2017年度以降に入学された方は可能な限り持参するようにしてください。A3サイズの出力ができる環境としています。2016年度以前に入学された方はアナログでの制作も可としますが、可能であればパソコンでの制作に挑戦していただきたいと思います。

●スクーリングで制作した作品の保存

スクーリングで制作した作品は、課題作品集を作成する際に必要となりますので、教室に用意された撮影ブース、もしくは自宅にて各自で撮影し保管しておいてください。研究室から作品写真の配付は行いません。

S	空間演出デザインV-7 伝統とプロダクトデザイン	科目コード： 74119
配当年次	3年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	スクーリング申込までに「空間演出デザイン基礎1」「空間演出デザイン演習II-1」を合格済であること。 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※「空間演出デザインV-1～10」の中から6つ選択履修してください。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインV-7(空間とプロダクトデザイン)K 開催日程：2019年11月9日（土）～ 2019年11月10日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25	
担当者	乾陽亮、上田篤* 他	

科目概要と到達目標

伝統とデザインのコラボレーションの可能性について探求する科目です。日本には海外からも高い評価を得る伝統工芸（や民芸品）が数多くあります。一方で時勢の変化についていけず衰退の道を辿っているものもその数以上に存在します。ここでは、伝統工芸を見つめ直し伝統工芸と現代デザインの融合によるプロダクトデザインを試みます。このプロセスを通じて伝統とデザインそれぞれの関係性について理解し、新しい価値観や美意識の創造に挑戦することを本授業の到達目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題の理解
4. 調査・分析力
5. 発想・構想力
6. 最終成果物・プレゼンテーション

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

課題

●課題名

「伝統とデザインのコラボレーション」

●内容

この科目では伝統工芸や民芸品について徹底的に調査した上で、その特徴を生かした現代のライフスタイルで求められるプロダクトを発想し、デザインすることに挑戦します。

出身地・居住地またはその近隣の都道府県の伝統産業品（伝統工芸品、民芸品など）を使い、現代の生活に組み込んだ“おしゃれ”な商品を開発します（都道府県指定の伝統工芸品は都道府県庁のサイトで確認できます）。ただし、当該の伝統工芸品はそのままでは「ダサイ」ということにします。もちろん仮定ですが、前提条件としてください。ただし「ここがダサイがここだけは素晴らしい」という考察を深めるのは歓迎します。それを“おしゃれ”に生活の中に取り込める、または生活を豊かにする商品を開発しましょう。家電製品などに組み込んで良いですし、他の伝統工芸と組み合わせても良いでしょう。単体で楽しくなる新しい使い方も可です。

●制作条件

- ・airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・この科目では、伝統産業品を調査、分析した上で生まれたプロダクトのアイデアのモックアップの制作とその魅力を伝えるリーフレット（企画書）を作成します。
- ・制作するモックアップは原寸サイズもしくは適切な縮尺のものとしします。
- ・制作に使用する素材は自由としします。各自スクーリングを進める中で必要となる素材をADストア等の画材店で購入していただきます。
- ・モックアップに変わりCGでイメージを制作しても構いません。その場合は持参するPCに制作に必要なソフトウェアのインストールをしておいてください（ソフトウェア使用方法の指導は行いません）。
- ・リーフレット（企画書）の制作はAdobe IllustratorCCの使用を推奨します。

●最終成果物

- ・生活雑貨やインテリアプロダクトのモックアップ1点もしくはCG1点
- ・リーフレット（企画書）1点

※モックアップとは外見を実物そっくりに似せた模型のことを言います。

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

※事前課題を持参しない者は、スクーリングを受講することができません。

●1日目

- 1講時 課題説明、事前課題チェック
- 2講時 課題制作
- 3講時 課題制作
- 4講時 課題制作
- 5講時 課題制作

●2日目

- 1講時 課題制作
- 2講時 課題制作
- 3講時 課題制作

受講にあたって

●持参物

□各自必ず持参

- 1 事前課題及び事前課題で指示されたもの一式
- 2 模型制作用道具（『コースガイド』pp.28～29参照）
- 3 制作材料及び素材
- 4 彩色道具（色鉛筆、マーカー等） *使用する方のみ
- 5 スケッチブック
- 6 筆記用具
- 7 デジタルカメラ（SDカードもしくはmicroSDカード対応のもの）
※上記以外にもスマートフォンなどのカメラ付携帯端末でmicroSDカード対応のものは可
※データを読み込み可能なカードリーダーを持参する場合はその他の形式のカメラも可
- 8 学内LAN利用アカウント（『学習ガイド』p.91参照）

□可能な限り持参

- 1 ノート型パソコン（ACアダプタ、マウス、延長コード等の周辺機器含む。デジタルでの制作希望者）
- 2 USBフラッシュメモリ（推奨：1GB以上）
- 3 各自選んだ素材の加工に必要と思われる道具

□コースから貸出

- 1 カッティングマット（A2）
- 2 ステンレス定規（60cm）
- 3 カラープリンター（デジタルでの制作者用）

注意事項

●パソコンでの制作について

このスクーリングでは特にリーフレット（企画書）の制作においてパソコン（Adobe Illustrator等）の使用を推奨します。2017年度以降に入学された方は可能な限り持参するようにしてください。A3サイズの出力ができる環境としています。2016年度以前に入学された方はアナログでの制作も可としますが、可能であればパソコンでの制作に挑戦していただきたいと思います。

●スクーリングで制作した作品の保存

スクーリングで制作した作品は、課題作品集を作成する際に必要となりますので、教室に用意された撮影ブース、もしくは自宅にて各自で撮影し保管しておいてください。研究室から作品写真の配付は行いません。

S	空間演出デザインⅤー8 コンテンポラリー・ジュエリー	科目コード： 74120
配当年次	3年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	スクーリング申込までに「空間演出デザイン基礎1」「空間演出デザイン演習II-1」を合格済であること。 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※「空間演出デザインⅤ-1～10」の中から6つ選択履修してください。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインⅤー8(コンテンポラリー・ジュエリー)K 開催日程：2019年11月30日（土）～ 2019年12月1日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25	
担当者	酒井洋輔、上田篤*、他	

科目概要と到達目標

コンテンポラリージュエリーと呼ばれる、素材に制約されない装身具のデザインに取り組む科目です。貴金属や宝石といったジュエリー素材の固定観念を解放し、様々な素材や技法を駆使して新たな価値観を生むコンテンポラリージュエリーのデザインと造形表現に挑戦します。日常生活を彩るデザインを様々な視点から再考察する構想力とそれを具現化する表現力の習得を到達目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題の理解
4. 発想・構想力
5. 表現力
6. 最終成果物

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	『CHIMASKIのハンドメイドジュエリー』ビー・エヌ・エヌ新社

課題

●課題名

「コンテンポラリージュエリー＜糸とジュエリー＞」

●内容

コンテンポラリージュエリーは、既存のジュエリーとは異なり、宝石と細密な彫金技術に重きを置いたものではありません。素材や技術に制約を受けないジュエリー分野であり、デザイナーの独自性が求められます。約75,000年前に小さな貝殻のネックレスが見つっていますが、その貝をネックレスにしていたのは糸でした。糸は人類が初めて制作した（と思われる）ジュエリーです。また「糸電話」のように伝達手段に使用されたり、「運命の赤い糸」という言葉があるように人と人を繋げるイメージも内在しています。

このような事例を参照すると、日本における現代のジュエリーとは違うジュエリーの形（＝コンテンポラリージュエリー）を求めてみてもいいように考えられます。

この課題では、身近な様々な素材の組み合わせで身につけることのできるジュエリーを制作しますが、前述した古代のジュエリーに則って「糸」を使用することを必須とします。

糸といっても、刺繍糸、タコ糸、金糸、蜘蛛の糸、釣りの糸、歯磨きのフロスなど多種多様な糸が存在します。それらを独自の解釈と使用方法でジュエリーに仕立ててください。

●制作条件

- ・airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・制作する作品は原寸サイズとします。
- ・制作する主な素材は、一般にジュエリーとしては使用しない日常で見かける安価に入手可能な素材としてください。
- ・制作するにあたって必要となる副素材については別途購入可能です。準備して持参するか、必要に応じてADストア等の画材店で購入していただきます。

●最終成果物

糸を主素材としたジュエリー（1点以上 何点でも）

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

※事前課題を持参しない者は、スクーリングを受講することができません。

●1日目

- 1講時 課題説明、事前課題の確認、講義「コンテンポラリージュエリーとは」
- 2講時 エスキス
- 3講時 エスキスチェック、制作
- 4講時 制作
- 5講時 制作

●2日目

- 1講時 制作
- 2講時 制作
- 3講時 制作
- 4講時 制作、発表準備
- 5講時 講評会

受講にあたって

●持参物

□各自必ず持参

- 1 事前課題及び事前課題で指示されたもの一式
- 2 模型制作用道具一式（『コースガイド』pp.28～29参照）
- 3 制作材料及び素材（※当日購入可）
- 4 彩色道具（色鉛筆、マーカー等）＊使用する方のみ
- 5 スケッチブック
- 6 筆記用具
- 7 記録用デジタルカメラもしくはカメラ付スマートフォン

□可能な限り持参

- 1 材料の接着に使えるもの（ボンド、グルーガンなど）
- 2 各自選んだ素材の加工に必要と思われる道具

□コースから貸出

- 1 カッティングマット（A2）
- 2 ステンレス定規（60cm）

注意事項

●スクーリングで制作した作品の保存

スクーリングで制作した作品は、課題作品集を作成する際に必要となりますので、教室に用意された撮影ブース、もしくは自宅にて各自で撮影し保管しておいてください。研究室から作品写真の配付は行いません。

S	空間演出デザインⅤ－9 コンパクトデザイン	科目コード： 74121
配当年次	3年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	スクーリング申込までに「空間演出デザイン基礎1」「空間演出デザイン演習II-1」を合格済であること。 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※「空間演出デザインⅤ-1～10」の中から6つ選択履修してください。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインⅤ-9(コンパクトデザイン)K 開催日程：2020年1月18日（土）～ 2020年1月19日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：25	
担当者	伊達伸明、川合健太* 他	

科目概要と到達目標

「コンパクト」という性質に着目し、生活雑貨や家具、インテリアプロダクトなど、暮らしに欠かすことのできないモノのデザインに取り組む科目です。人が考案したモノには「折る」「畳む」「引き出す」「積む」「組み立てる」など、さまざまな仕組みや構造が備わっていますが、そのどれもが、生活空間や暮らしを充実させるために「コンパクト」という性質を伴ったデザインであり、機能的な要素に加えて、美的要素も含んでいます。そうした身の回りにあるさまざまなモノの仕組みや構造の意味を理解するとともに、新たな提案のできる柔軟な発想力の習得を到達目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題の理解
4. 調査、分析力
5. 発想、構想力
6. 最終成果物、プレゼンテーション

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

課題

●課題名

「おでかけのデザイン」

●内容

この科目では、「コンパクト」という性質に着目し、“おでかけ”というシーンで活躍するモノのデザインに取り組みます。人がおでかけする姿の想像を深めると、モノの携行のしやすさや省スペース（つまり、コンパクト）を考えることに突き当たります。お弁当箱や水筒、傘やバッグといった外出に伴するモノをはじめとして、移動することのできる様々なモノに備わっている性質です。そうした特性について、使い易い仕組みや構造といった機能的な側面に加え、美しい納まりといった美的観点からも理解を深め、自身の提案するモノのデザインへと昇華させます。

●制作条件

- ・ airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・ この科目では、考察した“おでかけ”というシーンで活用するモノのデザインのモックアップ（もしくはCG）とその魅力を伝える企画提案書を作成します。
- ・ 制作するモックアップは原寸サイズもしくは適切な縮尺のものとしします。
- ・ モックアップの制作に使用する素材は自由としします。各自スクーリングを進める上で必要となる素材をADストアなどの画材店で購入していただきます。
- ・ モックアップに代わりCGで制作しても構いません。その場合は持参するPCに制作に必要なソフトウェアのインストールをしておいてください（ソフトウェアの使用法の指導は行いません）。
- ・ 企画提案書の作成はAdobe IllustratorCCの使用を推奨します。

●最終成果物

- ・ 自身が提案する「おでかけのデザイン」のモックアップ1点もしくはCG1点※
 - ・ リーフレット（企画書）1点
- ※モックアップとは、外見を実物そっくりに似せた模型のことを言います。

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

※事前課題を持参しない者は、スクーリングを受講することができません。

●1日目

- 1講時 課題説明、事前課題の確認
- 2講時 エスキス
- 3講時 エスキスチェック、制作
- 4講時 制作
- 5講時 制作

●2日目

- 1講時 中間チェック
- 2講時 制作
- 3講時 制作
- 4講時 制作、発表準備
- 5講時 講評会

受講にあたって

●持参物

□各自必ず持参及び事前課題で指示されたもの一式

- 1 事前課題
- 2 模型制作用道具一式（『コースガイド』pp.28～29参照）
- 3 制作材料及び素材（※当日購入可）
- 4 彩色道具 *使用する方のみ
- 5 スケッチブック
- 6 筆記用具
- 7 デジタルカメラ（SDカードもしくはmicroSDカード対応のもの）
※上記以外にもスマートフォンなどのカメラ付携帯端末でmicroSDカード対応のものは可
※データを読み込み可能なカードリーダーを持参する場合はその他の形式のカメラも可
- 8 学内LAN利用アカウント（『学習ガイド』p.91参照）

□可能な限り持参

- 1 ノート型パソコン（ACアダプタ、マウス、延長コード等の周辺機器含む。デジタルでの制作希望者）
- 2 USBフラッシュメモリ（推奨：1GB以上）
- 3 各自使いたいと思う材料
- 4 各自選んだ素材の加工に必要と思われる道具

□コースから貸出

- 1 カッティングマット（A2）
- 2 ステンレス定規（60cm）
- 3 カラープリンター（デジタルでの制作者用）

注意事項

●パソコンでの制作について

このスクーリングでは特に企画提案書（A4サイズ）の制作においてパソコン（Adobe Illustrator等）の使用を推奨します。2017年度以降に入学された方は可能な限り持参するようにしてください。A3サイズの出力ができる環境としています。2016年度以前に入学された方はアナログでの制作も可としますが、可能であればパソコンでの制作に挑戦していただきたいと思います。

●スクーリングで制作した作品の保存

スクーリングで制作した作品は、課題作品集を作成する際に必要となりますので、教室に用意された撮影ブース、もしくは自宅にて各自で撮影し保管しておいてください。研究室から作品写真の配付は行いません。

S	空間演出デザインV-10 あかりのデザイン	科目コード： 74122
配当年次	3年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	スクーリング申込までに「空間演出デザイン基礎1」「空間演出デザイン演習II-1」を合格済であること。 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※「空間演出デザインV-1～10」の中から6つ選択履修してください。	
開講日程・ 開講地・定員	空間演出デザインV-10(あかりのデザイン)K 開催日程：2020年2月1日（土）～ 2020年2月2日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：25	
担当者	村上菜也子、上田篤* 他	

科目概要と到達目標

あかりの形とそこから生まれる光と影の関係性を踏まえ、光のオブジェとしてのあかりをデザイン・制作しながら、空間へ与える視覚的效果と心理的效果について考察する科目です。単体の照明オブジェとしてでなく、あかりのある魅力的な生活シーンのデザインとして捉える構想力とオブジェとしての表現力の習得を到達目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題の取り組み
2. 授業への取り組み
3. 課題の理解
4. 発想、構想力
5. 表現力
6. 最終成果物

事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	『陰翳礼讃』 中公文庫

課題

●課題名

「あかりのデザイン」

●内容

「和紙」を主たる素材として「あかり」をデザインし制作します。

事前課題であかりについてリサーチした後、自身が作り出したい照明器具のデザインをドローイングなどでスタディし、その照明が置かれた空間を想定し、その場での役割、その魅力と実現可能性について考察します。それらをもとにスクーリングで実制作を行います。

和紙を透過する光でやわらかく空間を照らす光景を考えると同時にオブジェとしての美しさ、存在感、光と影の演出も考慮に入れましょう。

●制作条件

- ・airUマイページを参照し、事前課題に取り組み、制作したものをスクーリングへ持参してください。
- ・制作する「あかり」は原寸サイズとします。
- ・「あかり」は竹ひごで作った骨格に和紙を貼り、内部に電球を仕込んだ造形とします。

●最終成果物

あかりの造形作品（W30cm×D30cm×H30cm程度）

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

※事前課題を持参しない者は、スクーリングを受講することができません。

●1日目

- 1講時 課題説明、事前課題の確認
- 2講時 道具の使い方説明、エスキス
- 3講時 エスキスチェック、制作
- 4講時 制作
- 5講時 制作

●2日目

- 1講時 制作
- 2講時 制作
- 3講時 制作
- 4講時 制作、発表準備
- 5講時 講評会

受講にあたって

●持参物

☐ 各自必ず持参及び事前課題で指示されたもの一式

- 1 事前課題
- 2 模型制作用道具一式（『コースガイド』pp.28～29参照。特に木工用ボンドは必須）
- 3 筆2本 丸筆4～5号（糊の塗布や和紙カットの際に使用します）

※詳細は事前課題のWEB教材概要を参照してください。

4 木綿糸（白/1巻き：竹ひごの結束に使用します）

5 木工用ボンド（速乾性）

6 瞬間接着材 ※液状のものに限る

7 デジタルカメラ（SDカードもしくはmicroSDカード対応のもの）

※上記以外にもスマートフォンなどのカメラ付携帯端末でmicroSDカード対応のものは可

※データを読み込み可能なカードリーダーを持参する場合はその他の形式のカメラも可

8 スケッチブック

9 筆記用具

10 軍手

☐可能な限り持参

1 エプロンもしくはその代用品

☐コースから貸出

1 カッティングマット（A2）

2 ステンレス定規（60cm）

3 ダブルクリップ（小）

4 ペンチ

5 デザインナイフ

6 ふのり

7 たこ糸

8 サンドペーパー

9 のこぎり（細目）

☐コースで一括購入して支給

1 電球（25w、白色）

2 ソケット台

3 和紙（手漉き椿和紙_未晒）

4 竹ひご（1800mm 4本）※4本のうち1本は実験用とします。

●諸経費

材料代は後日指定口座より引き落としとなります。

1人当たり2,500円程度（2018年度実績）の予定です。

注意事項

●スクーリングで制作した作品の保存

スクーリングで制作した作品は、課題作品集を作成する際に必要となりますので、教室に用意された撮影ブース、もしくは自宅にて各自で撮影し保管しておいてください。研究室から作品写真の配付は行いません。

S	卒業制作（空間演出デザイン） 卒業制作 科目コード： 74191
配当年次	4年次～
単位数	6
履修の前提条件	前期（卒業制作1、 2）：前年度末までに卒業制作着手要件を充足し、卒業制作着手の許可を受けていること。 後期（卒業制作3～6）：「卒業制作1、2」を履修中であり、かつ「卒業制作3～6」スクーリング申込までに「卒業制作3～6」の履修の前提条件を充足すること（詳細は『コースガイド』pp.6～7「5.卒業制作着手要件・卒業要件」参照）。 ※ 前期（卒業制作1、2）を受講済みであっても後期申込時点で上記履修の前提条件を満たせない場合は、後期（卒業制作3～6）へ進むことはできず、前期（卒業制作1、2）についても次年度以降にあらためて受講する必要があります。 ※「卒業制作1、5」は前半は1日間の対面スクーリング、後半はメディア授業として実施します。詳細は授業計画欄を確認してください。
開講日程・ 開講地・定員	卒業制作1K 開催日程：2019年4月20日（土）,2019年6月15日（土）～ 2019年6月16日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：なし 卒業制作1T 開催日程：2019年4月21日（日）,2019年6月15日（土）～ 2019年6月16日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：なし 卒業制作2(テーマ審査)K 開催日程：2019年7月27日（土）～ 2019年7月28日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：なし 卒業制作2(テーマ審査)T 開催日程：2019年8月3日（土）～ 2019年8月4日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：なし 卒業制作3K 開催日程：2019年10月19日（土）～ 2019年10月20日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：なし 卒業制作3T 開催日程：2019年10月12日（土）～ 2019年10月13日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：なし 卒業制作4(中間審査)K 開催日程：2019年11月16日（土）～ 2019年11月17日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：なし 卒業制作4(中間審査)T 開催日程：2019年11月16日（土）～ 2019年11月17日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：なし 卒業制作5K

開講日程・ 開講地・定員	開催日程：2019年12月22日（日）, 2020年1月11日（土）～ 2020年1月12日（日） 開催地：京都・Web、受講料： ¥13,000、定員：なし
	卒業制作5T 開催日程：2019年12月14日（土）, 2020年1月11日（土）～ 2020年1月12日（日） 開催地：東京・Web■、受講料： ¥16,000、定員：なし
	卒業制作6(最終審査)K 開催日程：2020年1月25日（土）～ 2020年1月26日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：なし
	卒業制作6(最終審査)T 開催日程：2020年1月25日（土）～ 2020年1月26日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：なし
担当者	上田篤*、川合健太*、廻はるよ、松井利夫、他

科目概要と到達目標

空間演出デザインコースでの学びの集大成として卒業制作に取り組みます。卒業制作スクーリングではテキスト科目と連動しながら1年間にわたるプロジェクトとして一つの作品を制作します。

卒業制作は、テーマの発想からその成果を卒業制作展およびWEB卒業制作展で社会へ発信するまでの全ての取り組みとなります。その壮大さもこれまで取り組んだ科目と違う点ですが、それ以上に大きな目的があります。それは、これまでの科目が与えられた課題に取り組んだのに対して、卒業制作では自らテーマを設定し、調査や分析をもとに企画を固め、最終的に形とするため試行錯誤を繰り返しながら制作することです。学びの集大成として取り組むことはもちろんですが、自身の作品を通して、より良い生活環境を生み出すための社会へ向けた新しく独自性のある提案やメッセージとなるような大作を期待しています。これまでの学習や経験の中で芽生えた問題意識や新しい発想を探究した作品制作を到達目標とします。

評価基準と成績評価方法

【前期】

1. 問題意識
2. 情報調査力及び分析力
3. テーマの着眼点
4. 企画・構想力
5. プレゼンテーション

【後期】

1. コンセプト・探究心
2. 具現化する力
3. 制作プロセス及び継続力
4. 作品の完成度、展示計画
5. プレゼンテーション

授業出席と制作・研究内容、最終成果物による総合評価となります。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献、airUマイページのWEB教材などを読んで、受講内容について理解を深め

るようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	airUキャンパス>空間演出デザインコースサイト https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/space/ 2018年度デザイン科WEB卒業制作展ページ（2019年6月30日まで） http://t.kyoto-art.ac.jp/websotsuten/space/ デザイン科WEB卒業制作展参考作品ページ（リンク先が開かない場合は、コースサイトのお知らせからもアクセスできます） http://t.kyoto-art.ac.jp/archives/?from=air-u.campus/

課題

●内容

【前期】

最終科目である卒業制作におけるテーマ発想と調査、分析を経て企画立案までのプロセスを習得し、卒業制作の企画を固めることを目指します。「自分が作品（表現）を通して社会に訴えたいことは何なのか」について徐々に鮮明にしていきます。その道中はすんなり一本道では無いでしょう。時には寄り道、時には後戻りと、様々な試作（スタディワーク）を繰り返す継続的な取り組みが要求されます。同時に、実制作を見据えた必要技術の確認と習得の準備期間となります。

【後期】

前期の取り組みを継承し、企画をもとにした試作を繰り返した後、卒業制作として認められうる作品の完成を目指します。卒業制作4では中間プレゼンテーションを行い最終制作へ進む直前に方向性の確認を行います。その後は、最終の展示計画も見据えながら制作を進め、卒業制作6の最終審査に臨み、学科教員の評価をもとに可否判定を行います。最後に完成した成果物を『通信教育部卒業制作展』および『通信教育部デザイン科WEB卒業制作展』へ出展します。

授業計画

卒業制作は「卒業制作の仕組み」（参照先:airUキャンパス>空間演出デザインコースサイト）のように1年間をかけて段階的に進めます。授業スケジュールの全体像を把握して計画的に進めましょう。なお、進捗状況によって各回の時間配分や順序は変更となる場合があります。

//////////「卒業制作1/テーマ発表、テーマ研究・調査」//////////

卒業制作1では卒業制作として取り組むテーマを探ります。

受講前に事前課題として卒業制作企画書を提出していただきます。

シラバスを熟読し、自身の取り組むテーマを設定した後、テーマに関して徹底的にリサーチした上で、自身の着眼点(視点)、問題意識、企画提案内容についてairUマイページから入手した卒業制作企画書にまとめ、スクーリングの2日前4月18日(木)13:00までにairUマイページの該当箇所へ提出してください。

提出後、卒業制作1の前半の1日間スクーリングを受講します。提出した卒業制作企画書をもとに、卒業制作のテーマと概要をプレゼンテーションしていただきます。発表した内容について講評や意見交換を重ねて探究すべきテーマの輪郭を炙り出します。自身の発表も重要ですが、他者の発表からも思いがけない発見や発想が得られることがあります。注意深く聴講しましょう。

今後の進め方についての相談は個別にも行います。その際、テーマ資料（自らのテーマに関係すると思われる参考作品やその資料）を5例以上（用紙は任意、レイアウトなどは自由）と、これまでの学習の取り組みを確認するための課題作品集（airUキャンパス>空間演出デザインコースサイト>学習支援参照）を持参してください。また、参考となる作品などの調査資料も積極的に持参するようにしてください。卒業制作のテーマを確定するために様々な調査や検討をしますので、この段階ではテーマは複数であっても構いません。また、時にはテーマの修正も必要となりますが、まずはじっくりと取り組みましょう。

スクーリング終了後はairUマイページに今回の検討結果の整理と今後の方向性を報告します。

※初回スクーリング（卒業制作1前半）には必ずノートPCを持参するようにしてください。2016年度以前の入学生で持参ができない場合は、スクーリング前に事前にお知らせください。

後半はメディア授業として実施します。

6月15日（土）～6月16日（日）の期間に開催されるWEBを使用したグループ面談に向けて、5月10日（金）13:00～5月24日（金）13:00の期間にairUマイページにテーマを書き込みます。そして、5月24日（金）13:00～6月7日（金）13:00の期間に他の受講生と相互に意見を述べあいます。受講生全員がairUマイページに書き込まれた全員のテーマに対して必ずコメントしてください。

その後、6月15日（土）、6月16日（日）のいずれかの都合の良い日にWEB上でグループ面談を実施します。

これらのメディア授業の進め方は、スクーリングでの指示とairUマイページ「スクーリング・研究経過報告」ページ記載内容に従って取り組んでください。

●自宅学習

1～5講時 事前課題（テーマ検討、リサーチ、卒業制作企画書の作成）

●1日目（前半：対面授業）

1講時 卒業制作ガイダンス

2～5講時 テーマ発表、テーマ相談1

●2日目（後半：メディア授業）

1～5講時 テーマ相談2、グループ面談

※※※卒業制作のテーマ設定について※※※

まずは以下(A、B)のいずれかの方針を選択してください。

Bの場合はそれぞれ参照した科目の目的をしっかりと理解した上で、自身の目指そうとする取り組みと照らし合わせるようにしてください。

卒業制作は卒業研究という側面もあり、ここで言うテーマとは「研究テーマ」と解釈することができます。これからの社会にこれまでに無かった価値を届けられる提案となるようなテーマ設定を心がけましょう。

A:自由制作

独自にテーマを設定し、進めたい方対象。（アートイベントやワークショップの企画・実施などのプロジェクトデザインも含みます）

B:課題制作

過去に合格済みの科目(※)課題からテーマを選定し、発展させたい方対象。

(インテリアの設計・演出などの空間(場)のデザイン、雑貨やインテリアプロダクトなどのモノのデザイン、状況をデザインするコトのデザインに的を絞って進めます)

【例】課題時のテーマ「〇〇のための収納」→発展後のテーマ「〇〇のための照明」といったように、課題時の着眼点(〇〇)をもとに発展させていきます。

※過去に合格済みの該当科目は下記の科目とします。

テキスト科目:「空間演出デザイン演習II-1、2」「空間演出デザイン演習III-1、2」「空間演出デザイン基礎2」

スクーリング科目:「空間演出デザインII-2」「空間演出デザインIII-1~3」「空間演出デザインIV-1、2」「空間演出デザインV-1~10」

//////////「卒業制作2／テーマ審査、制作相談」//////////

卒業制作2では今後卒業制作として制作を進めることが可能なテーマとなっているかどうかを審査します。

今回も事前課題としてairUマイページから入手した卒業制作企画書を作成し、スクーリング受講前に提出します。京都は7月25日(木)、東京は8月1日(木)それぞれ13:00までにairUマイページの該当箇所へ提出してください。

提出された企画書を元に前回からの進捗状況(テーマの修正・変更、調査分析結果)を確認し審査を行います。

テーマ審査後は、自身のテーマに基づいた制作方法、表現方法について検討を始めます。興味のある素材やその資料をこの時期にかき集めましょう。

スクーリング終了後は、卒業制作3までの間に十分な時間がありますのでしっかりと取り組んでください。

卒業制作前期はここまでとなりますので、これまでのテーマ研究を一度客観的に俯瞰してみましょう。他者の客観的な意見も聞き、改善できる内容については積極的に取り入れましょう。

次回スクーリングまでの間にairUマイページで経過報告をしていただきます。京都は9月19日(木)、東京は9月12日(木)それぞれ13:00までにairUマイページの該当箇所へ書き込んでください。

また、テキスト科目「空間演出デザイン演習IV」の第1課題はこのスクーリングでテーマ確定後に着手し、次回スクーリング前に提出締切があります。相談がある場合は、適宜受け付けます。

●自宅学習

1~5講時 事前課題(リサーチ、企画の改善、卒業制作企画書の作成)

●1日目

1~3講時 テーマ審査、テーマの決定

4~5講時 制作相談

●2日目

1~2講時 個別指導

3~5講時 卒業制作3に向けての指導

//////////「卒業制作3／制作指導、制作方針決定」//////////

ここから卒業制作の後期が始まります。

この段階からはテーマに基づいた試作が不可欠です。制作方法や表現方法はこの段階で決定していなくても構いませんが、次回の中間審査へ向けて制作物を確定するためにもこのスクーリングにはできるだけ試作物を持参してください。それらの成果をもとに制作方針を決定し、中間審査用に準備する制作内容や資料構成を確認します。

スクーリング終了後はairUマイページに今回の検討結果の整理と今後の方向性を報告していただきます。京都は10月28日（月）、東京は10/21（月）それぞれ13:00までにairUマイページの該当箇所へ書き込んでください。

●自宅学習

1～5講時 事前課題（リサーチ、試作物の制作）

●1日目

1～5講時 制作相談

●2日目

1～3講時 制作方針決定

4～5講時 中間審査へ向けての指導

//////////「卒業制作4／中間審査」//////////

いよいよ中間審査です。テーマ設定に基づいた本制作へ進むことが可能かどうかを審査します。卒業制作3までの指導をもとにテーマとその制作方針、表現方法についてまとめておく必要があります。自身が卒業制作を通して社会へ訴えたいメッセージやこれまでに無かった価値の提案内容、最終的な制作物のイメージが伝わるように準備しましょう。

中間審査用の卒業制作企画書はスクーリングの2日前の11月14日（木）13:00までにairUマイページの該当箇所へ提出してください。

加えて、スクーリングへは中間審査用プレゼンテーションツール（タイトル、コンセプト、エスキス、完成予想図などをまとめたプレゼンテーションボード、試作模型など。いずれも制作途中のもので構わない）を持参し発表してください。審査は普段指導しない教員も参加する可能性も考慮し、全員の第三者に伝わることを意識してプレゼンテーションの準備をしておいてください。

スクーリング終了後は中間審査の結果を受けて、最終的な方向性をairUマイページにて報告します。京都、東京ともに11月25日（月）13:00までにairUマイページの該当箇所へ書き込んでください。

●自宅学習

1～5講時 事前課題（中間審査用の卒業制作企画書の作成、試作物の制作）

●1日目

1～2講時 発表準備

3～4講時 中間審査

5講時 個別指導

●2日目

1～2講時 個別指導

3～5講時 制作相談

※京都会場と東京会場をインターネットで繋いだ同時進行を含みます。

//////////「卒業制作5／制作指導」//////////

中間審査終了後は本制作に入ります。制作期間を目一杯使った取り組みが期待されます。

卒業制作5ではまず前半の1日間スクーリングを受講します。このスクーリングでは最終審査へ向けた制作物とその進捗状況の確認をします。卒業制作も佳境に入りました。展示のことも考えて制作の最終段階に入ります。

後半はメディア授業として実施します。1月11日（土）～1月12日（日）の期間に開催されるWEBを使用したグループ面談に出席いただきます。前半終了後の進捗状況の確認と、最終審査に向けた制作の最終指導を行います。

これらのメディア授業の進め方は、スクーリングでの指示とairUマイページ「スクーリング・研究経過報告」ページ記載内容に従って取り組んでください。

また、この時期からテキスト科目「空間演出デザイン演習Ⅳ」の第2課題の提出に向けての準備も進める必要があります。相談がある場合は、適宜受け付けます。

●自宅学習

1～5講時 事前課題（最終成果物の制作）

●1日目（前半：対面授業）

1～5講時 制作相談1、最終審査へ向けての指導

●2日目（後半：メディア授業）

1～5講時 制作相談2、最終審査へ向けての指導

//////////「卒業制作6／最終審査」//////////

卒業制作の最終審査を行います。最終審査に必要なものは、卒業制作概要書、制作物、その他プレゼンテーションツールです。いずれも完成したものである必要があります。

卒業制作概要書は、airUマイページで書式等を指定しますので、それに基づいて作成し事前に提出します。スクーリングの2日前の1月23日（木）13:00までにairUマイページの該当箇所へ提出してください。制作の最終段階ではありますが、これまでの経緯を知らない第三者にも制作意図が伝わることを意識してプレゼンテーションの準備を進めてください。

また、テキスト科目「空間演出デザイン演習Ⅳ」の第2課題の最終締切日が近づいてます。相談がある場合は、適宜受け付けます。

なお、スクーリング終了後は卒業制作展およびWEB卒業制作展へ向けた準備、確認のための相談期間をairUマイページ上で設けます。質問や相談のある方は2月10日（月）13:00～2月24日（月）13:00までの期間にairUマイページの該当箇所へ書き込んでください。

●自宅学習

1～5講時 事前課題（最終成果物の制作、展示計画の検討）

●1日目

1～5講時 成果物の最終調整

●2日目

1講時 発表準備

2～4講時 最終審査

5講時 総括、卒業制作展に向けた展示計画

※京都会場と東京会場をインターネットで繋いだ同時進行を含みます。

受講にあたって

●持参物

- ・原則として、作品を制作するにあたり必要と考えられるものを各自で準備してください。
- ・その他、特に必要なものが生じた場合はairUマイページでお知らせします。
- ・ノート型パソコンによる制作を予定しているものは各自ノート型パソコン（ACアダプタ、マウス等の周辺機器、「学内LAN利用アカウント」も含む）を持参してください。また、ウイルスチェックは必ず済ませ、電源用の延長コードもあわせて持参するようにしてください。
- ・スクーリング前に制作物を大学へ送付する必要がある場合は、事前にメールで研究室へ連絡のうえ、研究室からお知らせする各回の指定時間を厳守し梱包物の見えやすい場所に「卒業制作 通信教育部 空間演出デザインコース」と明記してください。

●諸経費

- ・卒業制作に必要な制作材料費や出力代金、運送費は制作者の負担になります。
- ・東京受講の方で「卒業制作6」終了後、すぐに卒業制作展出展に向けて外苑キャンパスから瓜生山キャンパスへ作品を送付する場合も、費用は各自ご負担となります。

●その他

○卒業制作展について

卒業制作作品は3月中旬～下旬に京都瓜生山キャンパスにて開催される『通信教育部卒業制作展』へ出展します。作品搬入と展示および搬出作業は、出展者全員での取り組みとします。（参加できない場合は代理の方をたていただきます。）詳細は卒業制作後期スクーリングの中で説明します。

○WEB卒業制作展について

卒業制作作品は『通信教育部デザイン科WEB卒業制作展』へも出展します。最終審査（卒業制作6）に向けて準備する「卒業制作概要書」や「空間演出デザイン演習Ⅳ」の第2課題をもとに指定のデータを揃えてWEB上に提出していただきます。詳細については卒業制作後期スクーリングで説明し、データ準備の相談も行う予定です。

注意事項

●「卒業制作1～6」の全てを受講すること。

●「卒業制作1」「卒業制作5」では対面授業1日とメディア授業1日で構成されています。

●卒業制作はスクーリング科目6単位とテキスト科目「空間演出デザイン演習Ⅳ」4単位を合わせて年度末に10単位一括認定します。もし、いずれかの単位が修得できなかった場合は、スクーリング科目、テ

キスト科目とも単位認定は行いません。

●卒業制作では事前課題の配信、事前課題の提出、受講後の報告、その他の連絡事項の配信など年間を通じてairUマイページを利用します。受講者は定期的にairUマイページを確認するようにしてください。

TW	デザイン基礎1（空間演出デザイン） 二次元ドリル 科目コード： 74601
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし
履修方法	作品第1課題
課題提出形態	郵送・窓口、airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。
課題数	1
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	無
担当者	上田篤*、川合健太、寺尾文秀、岡本正人、出口春菜、桐畑淳、他

科目概要と到達目標

空間的（三次元的）な事柄は習熟するまでは簡単に把握することは難しく、二次元平面に投射して建築空間の構想を練ることが多くあります。三次元的構成へ発展させるための二次元表現は建築設計や空間デザインにおいてまず習得すべき基礎的素養と言え、その基礎実践を学ぶ科目です。建築物やモノを正確に把握し、それらを表現していくための技術をデッサンやスケッチ、基礎的な図学（建築物や立体造形物を対象とする）、平面構成、色彩構成（建築空間に応用可能なもの）を通して実際に手を動かすことで習得し、デザインにおいて必要となるものづくりの基本的な能力や感性を養うことを到達目標とします。

※デザイン基礎課程のAtelier Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 課題の理解
2. 正確さ、丁寧さ
3. 道具を使った表現
4. 作品の構成、着眼点
5. 完成度

上記の評価観点に基づき、課題の提出が満たされていることを合格の基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『図形ドリル※』 ※『図形ドリル』は2012年度からの新規教材（『空デドリル』から変更された教材）です。詳細は『学習ガイド』「テキスト配本」の項を確認してください。 【補助教材】『新しい建築の製図』『造形の基礎を学ぶ』『失われた身体を求め
------	---

テキスト	て』 ※『造形の基礎を学ぶ』は学部共通専門教育科目「造形基礎演習1・2」のテキストとしても使用します。個別請求（無料配本）となりますので、詳細は学習ガイドをご確認ください。
参考文献・URL	なし

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 作品（科目シラバス【提出準備】に従った体裁） 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】（B）を参照してください。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】の（B）を参照してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞該当科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題名

平面での思考「二次元ドリル」

『図形ドリル』第1章、2章に取り組めます。全てのデザインにおいてまず基礎となる二次元（平面）デザインを様々な角度から捉えた演習問題に取り組めます。ドリルの小問に取り組むことで、積み上げ式に今後の空間デザインの基礎知識を習得します。

●内容

ドリル教材を通じてそれぞれ以下のテーマに基づいた複数課題に取り組むことで、空間構想力を高めるための幾何学的思考法、タイポロジー等の二次元表現の基礎を理解するための演習です。

「作図基礎」／「平面表現」／「色彩基礎」／「平面構成」／「平面の複製」
また、以上の他に、合間に3問のコーヒープレイク（息抜き）の設問があります。

TW	デザイン基礎2（空間演出デザイン） 空間ファイル 科目コード： 74602
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし
履修方法	作品第1課題
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。
課題数	1
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	無
担当者	川合健太*、伊達伸明、春日部幹、寺崎悠真、他

科目概要と到達目標

フィールドワークを通じて日常生活を取り囲む様々な建築・都市空間の実例からその構成要素を再発見し、編集することで、今後の空間デザインをするための様々な設計手法、アイデアを習得します。建築や空間の設計に必要な様々なデザイン手法の源泉となる構成要素を日常的な実空間から探し出すことで、より实际的に建築や都市空間の構築理論を学びます。フィールドワークから自らが導いた構成概念（キーワード）を手掛かりに、様々な展開する建築・都市空間の構成事例を整理分類し今後の設計手法に役立てることを目標とします。

※デザイン基礎課程のField Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 課題の理解
2. 着眼点
3. 情報の収集、編集、構成
4. 文章表現
5. 空間把握力

上記の評価観点に基づき、課題の提出が満たされていることを合格の基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	WEBテキスト『デザイン基礎〔建築〕』 2013年度まで配付していたCD-ROMの内容を2014年度からWEBテキストへ移行しました（参考文献欄リンクからアクセス可）。 airUキャンパス＞空間演出デザインコースサイト＞学習支援＞教材＞デザイン基礎
------	--

テキスト	2「空間ファイル」WEB教材 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/space/design-kiso 【補助教材】『インテリア計画の知識』
参考文献・URL	『見る測る建築』TOTO出版

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 作品（科目シラバス【提出準備】に従った体裁） 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】（B）を参照してください。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】の（B）を参照してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞該当科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題名

空間の観察「空間ファイル」

●内容

建築やインテリアなど、空間デザインを行う上で、屋外、屋内に関わらずさまざまな空間の魅力を発見したり意味を見つけ出すことは大切です。そうした気づきがヒントとなって、自身の空間デザインの方針に影響を及ぼしたり、決定づけたりすることは多くあります。この課題では、「空間ファイル」と題してあなたの視点で発見した空間をファイリングします。WEBテキストを熟読の上、道具を持ってフィールドワークに出かけ、テキストのキーワードと照らし合わせながら空間を観察します。そして、それらの中から採集する空間を選び、記録（スケッチ、写真、実測など）、分析し、「空間ファイル」としてまとめ上げます。なお、この課題で採集する空間は、自宅や会社などの常にいる場所は除き、フィールドワーク先（外出先）で見つけた空間（屋外、屋内は問わない。ただし成人のヒトよりも大きなサイズの空間）としてください。あなたならではの視点で空間をファイリングしたとおきの一冊を作成してください。

TW	空間演出デザイン基礎1 空間ドリル	科目コード： 74603
配当年次	2年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	「デザイン基礎1、2（空間演出デザイン）」「空間演出デザイン演習I-1、2」を合格済であること。	
履修方法	作品第1課題	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	無	
担当者	川合健太*、向阪一郎、寺尾文秀、清水春那、他	

科目概要と到達目標

建築やインテリアなどの空間デザインを学んでいくための設計製図の基礎や空間デザインの計画を他者に正確に伝えるためのドローイングや模型製作を体得するために、印刷教材に記された各種設計図書やドローイングのトレースを行います。建築やインテリアの形態や構造、設計手法や思想を学ぶと同時に、今後の設計課題へ取り組むための知識や手法をここで習得します。歴史上数々の名建築や空間が世界には存在し、それらの多くは写真だけではなく設計図書やドローイングによって人々に共有されています。この科目ではそうした媒体の持つ意図を理解し、実際の図面やドローイングをトレースすることを通じて、各種技法を修得するとともに、設計者のデザイン手法や思想、構法の違いによって生じる空間特性の相異などについて理解することを目標とします。

※デザイン基礎課程のAtelier Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 課題の理解
2. 正確さ
3. 道具を使った図面表現
4. 作品の構成
5. 完成度

以上の評価観点に基づき、課題の提出が満たされていることを合格の基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『新しい建築の製図』、『インテリア計画の知識』
------	-------------------------

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 作品（科目シラバス【提出準備】に従った体裁） 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】(B)を参照してください。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】の(B)を参照してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞該当科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題名

図形と空間表現「空間ドリル」

●内容

『空間ドリル』にある問題に取り組めます。空間を設計するにあたって必要となる図面表現の基礎について理解を深めた後、インテリア表現に欠かすことのできない立体表現の応用について学びます。今後の空間設計における空間表現の技術を獲得します。

前半は、ドリル教材を通じて、テーマに基づいた課題に取り組むことで、建築やインテリアなどの空間設計における基礎技法を理解します。

「図面の理解」：平面図、平面詳細図、立面図、断面図、断面詳細図、展開図、天井伏図、部分詳細図、三面図

後半は、ドリル教材を通じて、テーマに基づいた課題に取り組むことで、建築やインテリアなどの空間表現における基礎技法を理解します。

「インテリア表現」：アクソノメトリック図、アイソメトリック図、一点透視図、二点透視図、スケッチパース

TW	空間演出デザイン基礎2 ローカルデザイン	科目コード： 74604
配当年次	2年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	「デザイン基礎1、2（空間演出デザイン）」「空間演出デザイン演習I-1、2」を合格済であること。	
履修方法	作品第1課題	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	無	
担当者	上田篤*、八木良太、藤井良平 他	

科目概要と到達目標

フィールドワークを通して、身近な生活空間の調査、分析を行い、「わたしのまち」ならではの「おみやげ」を考えます。おみやげを漢字で書くと「お土産」ですから、ここでは土から産まれた農産物をその対象として扱います。あなたのゆかりのある町をフィールドワークしてみて、自身のメガネにかなった自慢の一品を発掘し、そこで得たインスピレーションをもとにおみやげというメディアを使って他者へその魅力を伝えることに挑戦します。デザインの発想から企画立案、制作、提案までの一連の流れを自ら組み立てることで、ものづくりの制作プロセスについても実践的に学ぶ科目です。調査を踏まえた発想力と企画力、それを形にするまでのプロセスの習得を到達目標とします。

※デザイン基礎課程のField Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 課題の理解
2. 取材・調査情報量
3. 観察力と分析力
4. 発想・着眼点
5. 制作方法・素材の考察
6. 企画書の表現、編集、完成度

以上の評価観点に基づき、課題の提出が満たされていることを合格の基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	WEBテキスト『空間演出デザイン基礎2』airUキャンパス＞空間演出デザインコース
------	---

テキスト	サイト (https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/space/utsuwa)
参考文献・URL	『ブランドをデザインする!』パイインターナショナル 『別冊Discover Japan_LOCAL 地域ブランドデザイン集』 エイ出版社 『手仕事の日本』岩波書店 『観光人類学』新曜社 『おみやげ 贈答と旅の日本文化』青弓社 『路上観察学入門』筑摩書房 『フィールドワーク 書を持って街へ出よう』新曜社

作品第1課題

課題コード: 11

初回提出物 (一括送付)	1. 作品 (科目シラバス【提出準備】に従った体裁) 2. 添削指導評価書 (『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入) 3. 返送用宛名シール (返送先明記、発送時と同額の切手を貼付) ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】(B)を参照してください。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書 (『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入) 3. 前回提出 (=D評価) の添削指導評価書 (添削文含む) および作品 4. 返送用宛名シール (返送先明記、発送時と同額の切手を貼付) ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】の (B) を参照してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ>カリキュラム一覧>該当科目>「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題名

「ローカルデザイン」

●内容

この課題では「ローカルデザイン」という名の通り、自身にゆかりのあるまちの魅力を伝えるデザイン提案に取り組んでいただきます。デザインする対象はその地域の農産物(※)です。ある農産品を選び、そのものの魅力、それを育んだ地域の魅力を伝えるデザイン提案をしていただく課題です。自身の暮らす町や出身地、あるいはよく行く、行った町、いずれでも構いませんので、自身にゆかりのある町を選び存分にフィールドワークをし、まちの素顔を調査し、分析・整理します。そこで得られた歴史や地理情報、産業や特産品、観光情報など、まちの基本情報をまとめ、そこから地域の魅力のこもった(とあなたが思う)農産品をひとつ選び、人々が買って帰りたくなる「おみやげ」として、同時に、地元の人にとっても愛される特産品としてのパッケージデザインやプロモーションデザインに取り組んでいただきます。

※農産品については「学習のポイント」を参照。

TW	空間演出デザイン演習Ⅰー1 三次元ドリル	科目コード： 74605
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	作品第1課題	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	無	
担当者	上田篤*、川合健太、寺尾文秀、矢野かほる、岡本正人、桐畑淳、他	

科目概要と到達目標

建築などの空間構想をするためには三次元的にプロポーションの把握や操作を行う能力が不可欠です。様々なスケール感における立体構成を理論的側面と感性的側面の双方から捉えながら、モデル制作を中心とした演習によって、三次元的視野での設計やデザインの考え方、表現方法を学ぶ科目です。空間、人、モノのそれぞれの関わりを三次元的に形象化することで、建築設計や空間デザインを行うための、立体構成の想像力と感性を開発し、基本的な表現技術と造形技術を習得することを到達目標とします。※デザイン基礎課程のAtelier Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 課題の理解
2. 三次元的発想
3. 道具を使った表現
4. 作品の構成
5. 完成度、丁寧さ

以上の評価観点に基づき、課題の提出が満たされていることを合格の基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『図形ドリル※』 ※『図形ドリル』は2012年度からの新規教材（『空デドリル』から変更された教材）です。詳細は『学習ガイド』の「テキストの配本」をご確認ください。 【補助教材】『新しい建築の製図』
参考文献・URL	なし

初回提出物 (一括送付)	1. 作品（科目シラバス【提出準備】に従った体裁） 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】(B)を参照してください。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】の(B)を参照してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞該当科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題名

立体での構想「三次元ドリル」

●内容

『図形ドリル』第3章、4章に取り組めます。空間デザインのベースとなる三次元（立体）デザインを様々な角度から捉えた演習問題に取り組めます。ドリルの小問で立体把握、立体造形、立体描画、立体構成、立体の見え方（投影法）、遠近感に取り組むことを通じて、今後の空間デザインの基礎知識を習得します。

それぞれ以下のテーマに基づいた複数課題に取り組むことで立体的思考法、構造的概念、距離感等の設計に必要な造形能力の開発のための基礎演習を行います。

「三次元の世界へ」/「三面図と立体」/「立体の捉え方」/「立体造形基礎」/「立体造形応用」/「投影法を学ぶ」/「平面と空間」

また以上の他に、合間に2問のコーヒブレイク（息抜き）と最後の試練の設問があります。

TW	空間演出デザイン演習Ⅰ－2 デザインファイル	科目コード： 74606
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	作品第1課題	
課題提出形態	郵送・窓口、airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	無	
担当者	上田篤*、寺尾文秀、岡本正人、藤井良平、他	

科目概要と到達目標

空間やモノ、コトとあらゆる領域で必要とされるデザインについて探求する科目です。歴史的に著名なデザイナーやその作品について深く学び、デザインの背景にある発想力やコンセプト、その意義や実現に至るまでの創意工夫などについて理解を深めます。資料収集の方法、建築図面や設計図等の資料の読解法、デザインするにあたっての理念や手法を知ることの重要性を理解し、今後の自身のデザインや設計手法に役立てることを到達目標とします。※デザイン基礎課程のLab. Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 課題の理解
2. 調査情報量
3. 発想、着眼点
4. 情報編集力
5. プレゼンテーション

以上の評価観点に基づき、課題の提出が満たされていることを合格の基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『絵ときデザイン史』エムディエヌコーポレーション ※『絵ときデザイン史』は2019年度からの新規教材です。2018年度以前の入学生には配本されていません。2018年度以前の入学生でテキストを入手希望の方は個別に請求手続きをしてください。詳細は『学習ガイド』p.76「個別請求の方法」およびp.85「教材一覧」の空間演出デザインコースの欄を確認してください。
参考文献・URL	『20-21世紀DESIGN INDEX』LIXIL出版

参考文献・URL	『デザインの20世紀』日本放送出版協会 『日本デザイン史』美術出版社 『世界デザイン史』美術出版社 『20世紀のデザイン』タツシエン・ジャパン 『新建築』『JA』『a+u』『日経デザイン』などの各種雑誌
----------	---

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 作品（科目シラバス【提出準備】に従った体裁） 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】（B）を参照してください。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】の（B）を参照してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞該当科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題名

「デザインファイル」

●内容

この課題の意図は、社会的意義のあるデザインについて知り、資料を収集してそれを読解や分析する力を養うことにあります。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて自分だけの「デザインファイル」としてまとめます。

巷でよく見かけたり、教科書や雑誌などに取り上げられる古今東西の名デザインが大衆に支持されているのは何故なのかを考えてみよう。そこには、時代や地域の違いを超えた普遍的な魅力があるからに他なりません。作品を生んだデザイナーの思考の成果が評価され、世に残っているわけです。これからデザインに取り組んでいこうという我々も、感覚的に造形するだけでなく、美しさや機能性を兼ね備えた上、気持ちに楔を打つようなデザインを生み出せるようになるためには、先人の生み出したデザインの魅力を踏まえて、自分自身のデザイン手法を研ぎ澄ます必要があります。

そこで、この課題では多くのデザインを「知り」、それらをただ感心して眺めるだけでなく、その魅力を「読み解き」、「分析する」ことに挑戦します。名デザイナーの考えを知り、名デザインから学ぶ、空間演出デザインを学ぶ最初の一步であると同時に、自身がデザイナーとして歩み続けるために生涯不可欠なテーマでもあります。そのことを念頭に以下の制作条件に基づいて「デザインファイル」を作成してください。

TW	空間演出デザイン演習Ⅱ－1 すまいのリノベーション	科目コード： 74607
配当年次	2年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	「デザイン基礎1、2（空間演出デザイン）」「空間演出デザイン演習Ⅰ-1、2」を合格済であること。	
履修方法	作品第1課題	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	無	
担当者	廻はるよ*、多久和広、松尾宗則、松尾遥、他	

科目概要と到達目標

人が住まう建築（住空間）の設計を通して製図技法を学びながら、エスキス、スタディを繰り返すことで空間を考える方法を身に付ける科目です。ダイアグラム、ゾーニング、ブロックプランといった実践的な作業の積み重ねとして建築設計のプロセスを理解すると同時に、これまでに体得した設計製図や模型制作の技法をもとに、空間の魅力を十分に伝える総合的なプレゼンテーションとして設計図書をまとめます。人とすまいの関係性を検証する一連の設計プロセスに加え、構造形式や建築材料まで配慮した、論理的な空間の構想力、計画力、伝達力の習得を到達目標とします。

※デザイン基礎課程のForum Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 課題の理解
2. 計画の論理性
3. 計画の具現化手法
4. 模型もしくはパースの表現
5. プレゼンテーション

以上の評価観点に基づき、課題の提出が満たされていることを合格の基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『新しい建築の製図』『インテリア計画の知識』『空間プロデュースの視点』
参考文献・URL	『木造・S造・RC造ディテール集』エクスナレッジムック 『第3版コンパクト建築設計資料集成』丸善

初回提出物 (一括送付)	1. 作品 (科目シラバス【提出準備】に従った体裁) 2. 添削指導評価書 (『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入) 3. 返送用宛名シール (返送先明記、発送時と同額の切手を貼付) ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】(B)を参照してください。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書 (『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入) 3. 前回提出 (=D評価) の添削指導評価書 (添削文含む) および作品 4. 返送用宛名シール (返送先明記、発送時と同額の切手を貼付) ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】の (B) を参照してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞該当科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題内

「すまいのリノベーション」

●内容

与えられた住空間 (マンションの1室) の条件設定の中で、リノベーションを考えます。くらしの中の行動 (アクティビティ) と空間の関係性を考察し、住空間の各要素の繋がりについて学んだ後、基本となる構造が予め設定されているという制約のもとで、発想から構想のステップを繰り返し行い、インテリア計画を提案します。

すまい方というのは人によってさまざまです。ここではある家族 (2人暮らし) のためのすまいを計画します。以下で選択する1組のクライアントから、すまいのリノベーションの依頼を受けたと仮定します。まず、クライアントのライフスタイルや要望を読み解き、あなたの提案を含めたコンセプトとそれに基づいたデザイン方針を設定します。続いて諸室や機能のつながりをダイアグラムやゾーニング図などを用いて図式的に整理し、3つの大まかなラフ案 (ブロックプラン) を作成します。そして、それらの案をもとに思考を重ね、クライアントに提案する1案に絞り込み、具体的に設計を詰めていきます。この課題では、完成した設計図に加え、ラフ案を含めた設計に至るまでのプロセスも提出していただきます。

クライアントの要望からいかに豊かな暮らし方を提案できるのかがインテリアデザイナーには求められます。あなたの考える、クライアントにとっての「豊かなすまい」を形にしましょう。

- ・ リノベーションする空間は都心にある7階建てマンションの6階で床面積は約60㎡です。Web教材「図面」参照。
- ・ クライアントは以下A～Cの中から1組選択してください。

【A】新婚の夫婦

(夫：会社員28歳 趣味は音楽鑑賞、妻：パン屋店員26歳 趣味は料理)

要望

- ・ いきいきとしたアクティブな生活が理想。(ホームパーティーなどもたまにする。)

- ・ 子供を想定し、ふたつのプライベートゾーンが必要。
- ・ キッチンを中心としたライフスタイルもあこがれる。

【B】団塊世代の夫婦

（夫：定年退職し無職64歳 趣味は読書、妻：専業主婦62歳 趣味はガーデニング）

要望

- ・ 都心でも老後をゆったりと過ごせる生活が理想。
- ・ 夫婦用と来客用のふたつのプライベートゾーンが必要。
- ・ バルコニーを利用したガーデニングに挑戦してみたい。

【C】ルームシェアの二人

（Aさん：32歳の女性 趣味はお菓子づくり Bさん：46歳の女性 趣味はバイク）

要望

- ・ Aさん、Bさんともに働いていて独立心旺盛だが、必ず夜は家でゆっくり一緒に食事をしたい。
- ・ それぞれの個室は必要。でも大きさは4.5畳もあれば十分。
- ・ 共有空間（ダイニングキッチン、浴室など）の充実が理想

TW	空間演出デザイン演習Ⅱ－2 小さなショップ	科目コード： 74608
配当年次	2年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	「デザイン基礎1、2（空間演出デザイン）」「空間演出デザイン演習Ⅰ-1、2」を合格済であること。	
履修方法	作品第1課題	
課題提出形態	郵送・窓口、airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	無	
担当者	川合健太*、松山茂樹、松尾宗則、松尾遥、他	

科目概要と到達目標

小規模建築物の設計を通して、作図することで設計製図の手順、表現の基礎技法を学び、図面や工法、構造の理解をもとに空間を考える方法を身に付ける科目です。建築や空間の設計においては、設計条件を理解することはもとより、敷地与件に見合った構造や工法を選択し、計画する能力は不可欠です。公共空間に在する小規模建築物の計画を行うことで、建築の仕組みや図面表現の理解、JISにもとづく標準製図法に即した図面表記のルール・記号・図法の理解、建築設計図面の基礎技法の習得と設計プロセスに必要な手法の習得目標とします。

※デザイン基礎課程のForum Programに該当しています。

評価基準と成績評価方法

1. 課題の理解
2. 計画の論理性、独創性
3. 図面表現
4. 模型表現
5. プレゼンテーション

以上の評価観点に基づき、課題の提出が満たされていることを合格の基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『新しい建築の製図』、『インテリア計画の知識』、『空間プロデュースの視点』
参考文献・URL	『第3版コンパクト建築設計資料集成』丸善 『木造・S造・RC造ディテール集』エクスナレッジムック

初回提出物 (一括送付)	1. 作品（科目シラバス【提出準備】に従った体裁） 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】（B）を参照してください。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】の（B）を参照してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞該当科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードのうえ課題に取り組んでください。

●課題名

「小さなショップ」

●内容

書店のオーナーから依頼を受けて、とある街角に小さなブックショップを計画します。オーナーから与えられた条件をクリアすれば、他の提案は積極的に行っても構いません。商品（本）との幸せな出会いを演出し、魅力的な店舗空間づくりを目指します。尚、店舗は一時的に仮設されるのではなく、恒久的に設置されるものとしての耐久性も求められ、本を販売するためのアイデアも必要となります。店舗内部の陳列方法から、外部の意匠に至るまで、隅々までこだわりを持って提案しましょう。

【オーナーから与えられた条件】

- ・照明器具は使用せず、自然光を使用して商品を手にとってもらいたい。
- ・店名、ロゴもショップのイメージに合ったものを提案して欲しい。
- ・開店時間は午前10時～日没まで（それ以外の時間帯は施錠できるようにする）、年中無休。
- ・販売する本の種類、冊数は問わないが、お客様と商品（本）との幸せな出会いを演出し、お店で過ごす時間が魅力的になるような提案をして欲しい。また、本から派生するその他の商品（例：〇〇など）についても提案に含めても構わないが、それらの商品やその陳列方法も具体的にわかるように提案して欲しい。
- ・常駐するスタッフは1名で都度手元で精算や商品の受け渡し、在庫管理を行うため、レジ、ストックルームなどのバックヤードは考慮しなくても良い（つまり、店頭展示、販売のみ）。

【設計条件】

- ・airUからダウンロードしたWeb教材「別紙資料【A】」の敷地内に計画すること。
- ・店舗は、隣地境界線から0.5m、道路境界線から2mの範囲には計画できないものとする（屋根の突出は外壁の外側の面から20cm以内であれば構わない）。
- ・店舗の最高高さは3mまでとする。
- ・内部空間は人が土足のまま出入りできる形状とし、機能としては、商品（本、その他）の展示、販売スペースのみとする。

- ・出入口は1箇所、形状や大きさは自由とする。ただし、施錠できる形にすること。
- ・構造体は木造とし、店舗は恒久的に設置されるものとして、風雨に耐えうる耐久性を持つよう計画すること（屋根は必須）。
- ・街角にあることを考慮した外観デザインとすること。
- ・敷地内の現状はさら地であるため、各境界線から店舗のあいだに塀やフェンスを設けたり、地面に石やタイルを敷きつめたり、樹木を植えたりといった外構計画・エクステリアの積極的なデザイン提案も求める。
- ・電気、ガス、水道が必要となる設備は設置しないものとする。
- ・上記以外の条件については、各自の解釈で自由に設定して構わない。（法規的な問題も考慮しなくて構わない）

TW	空間演出デザイン演習Ⅲ－1 五感の空間デザイン 科目コード： 74609
配当年次	3年次～
単位数	2
履修の前提条件	「空間演出デザイン基礎1、2」「空間演出デザイン演習II-1、2」を合格済みであること。
履修方法	作品第1課題
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。
課題数	1
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	無
担当者	上田篤*、川合健太、青山修也、松山茂樹、寺崎悠真、他

科目概要と到達目標

商業施設のインテリアもしくは住空間におけるインテリアプロダクトのいずれかをデザインすることを通して、総合的なデザインのパッケージとしてのインテリア及びインテリアプロダクトの計画を理解し、それを第三者に伝えるための手法を学ぶ科目です。デザインの先にある生活シーンや使用シーンといった新しいライフスタイルを創出し、リアリティを持ってデザインを具現化し、発信するために必要となる実践力を身につけることを到達目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 課題の理解
2. 計画の論理性
3. 独創性
4. 図面、模型表現
5. プレゼンテーション

以上の評価観点に基づき、課題の提出が満たされていることを合格の基準とします。

本科目の成績評価は全課題の総合評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『インテリア計画の知識』『ものづくりの原点』『新しい建築の製図』
参考文献・URL	『木造・S造・RC造ディテール集』エクスナレッジムック 『ブランドをデザインする！』パイ インターナショナル 『第3版コンパクト建築設計資料集成』丸善

初回提出物 (一括送付)	1. 作品（科目シラバス【提出準備】に従った体裁） 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】（B）を参照してください。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】の（B）を参照してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞該当科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

以下の課題のどちらかを選択し、それぞれの課題の内容を確認して取り組んでください。

「A カフェのプロデュース」

「B アフタヌーンティー・ファニチャー」

/////「A カフェのプロデュース」/////

●課題名

「カフェのプロデュース」

●内容

あるオーナーから依頼を受けて市街地の大通りに面したカフェを計画します。与えられた空間で以下の制作条件等を満たした「〇〇カフェ（もしくはカフェ〇〇）」のデザインと、オープニングのプロモーションまでを任されました。オーナーの要望は訪れた人が五感の記憶を持ち帰ってもらえるカフェということで、視覚、味覚、嗅覚はもちろん聴覚や触覚にも訴えかけるデザインが求められています。新規店舗の立ち上げとして、店名（〇〇カフェ（もしくはカフェ〇〇））やロゴ、メニュー、オープニングのフライヤーのデザインを含めたトータルパッケージとして提案してください。

TW	空間演出デザイン演習Ⅲ－2 おもてなしのデザイン	科目コード： 74610
配当年次	3年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	「空間演出デザイン基礎1、2」「空間演出デザイン演習II-1、2」を合格済みであること。	
履修方法	作品第1課題	
課題提出形態	郵送・窓口、airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	無	
担当者	川合健太*、上田篤	

科目概要と到達目標

おもてなしのデザインとして、人と人、人とコミュニティ、人と社会、人と自然など、人を取り巻くさまざまな関係性について、調査・分析を行い、デザインの果たすべき役割を考察し、実践力を伴った企画提案を行います。デザイン提案を求められている状況をしっかりと見極め、空間（場）のデザイン、モノのデザイン、コトのデザインを通した自主的なデザインプロジェクトとしてプランニングし、企画書をまとめ上げます。アイデアを視覚化し、カタチを導き出し、客観的に自身の提案を組み立て、社会に発信する一連のデザインプロセスの習得を到達目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 課題の理解
2. 調査、分析力
3. 企画・構想力
4. 計画の論理性
5. プレゼンテーション

以上の評価観点に基づき、課題の提出が満たされていることを合格の基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『ものづくりの原点』『新しい建築の製図』
参考文献・URL	『第3版コンパクト建築設計資料集成』丸善 『ブランドをデザインする！』パイ インターナショナル

初回提出物 (一括送付)	1. 作品（科目シラバス【提出準備】に従った体裁） 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】（B）を参照してください。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】の（B）を参照してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞該当科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

デザインとは、生活や社会の課題を解決し、豊かで幸せな生活を人びとにもたらしものです。この課題では、卒業制作を目前にして、広く社会に向けたデザイン提案を行う実践力を養うために、おもてなしのデザインに取り組みます。

下記の領域から1つを選択し、それぞれの領域の課題の内容を確認して取り組んでください。

- 「A 空間（場）のデザイン」
- 「B モノのデザイン」
- 「C コトのデザイン」

TX	空間演出デザイン演習Ⅳ	科目コード： 74611
配当年次	4年次～	
単位数	4	
履修の前提条件	「卒業制作（3～6）」の履修の前提条件を充足していること（詳細は『コースガイド』pp. 6～7「5. 卒業制作着手要件・卒業要件」参照）。	
履修方法	作品第1課題（合格後）→作品第2課題	
課題提出形態	郵送・窓口、airU	
課題数	2	
課題提出期間	第1課題 【9/20締切分】09/11～09/20【10/21締切分】10/11～10/21 第2課題 【2/07締切分】02/01～02/07	
単位修得試験	無	
担当者	川合健太、上田篤	

科目概要と到達目標

身体を取り巻く空間や身体と空間の間に介在するモノなどとして形作られる作品は、建築家や空間デザイナーの構想力が結実したものです。それが社会にとって普遍性を持つことで初めて意義があると言えます。ここでは自身の卒業制作の作品を基に、説得力のある十分な内容を持ったプレゼンテーションツールとして集約する方法論を学びます。第1課題では卒業制作の研究テーマや方向性についてそこに至るプロセスや背景を他者への伝達を意識した卒業制作研究ノートとしてまとめ、第2課題では自身の卒業制作の最終成果物を社会へ向けた独創性のある提案書としてまとめます。

都市環境や自然環境、生活環境など卒業制作でテーマとして取り組むすべての環境において、空間と人間との関わりについて考えた構想を、社会に対して力強く提案していく力を習得します。空間に対峙するデザイナーとして社会におけるその職能のもつ役割を自覚し、普遍性と説得力のある企画書や設計図書を取りまとめます。卒業制作という自由課題を構想から具現化まで進めていくにあたって、作品制作の背景やプロセス、作品の持つメッセージを他者へ伝えるための編集力の獲得を到達目標とします。

評価基準と成績評価方法

第1課題

1. 課題の理解
2. 発想、問題意識
3. 調査情報量
4. 情報分析力、論理性
5. 独創性
6. プレゼンテーション、ブックデザイン

第2課題

1. 課題の理解
2. 情報編集力
3. 情報伝達力
4. 独創性
5. プレゼンテーションの完成度

以上の評価観点に基づき、課題の提出が満たされていることを合格の基準とします。

本科目の成績評価は全課題の総合評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 作品（科目シラバス【提出準備】に従った体裁） 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】（B）を参照してください。 ※提出期間は9月度（9/11～20【必着】）、10月度（10/11～21【必着】）の2回のみです。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、科目シラバス【提出準備】の（B）を参照してください。

課題の内容

●課題名

「卒業制作研究ノート」

●内容

卒業制作はこれまでの課題のように、与えられた課題に取り組むのではなく、自ら課題を見つけ出し、テーマを設定し、調査や分析をもとに企画を固め、最終的な形にするための試行錯誤を繰り返します。ここでは、現時点での卒業制作における研究テーマや今後の方向性について『卒業制作研究ノート』としてまとめます。

第2課題

課題コード : 21

初回提出物 (一括送付)	1. 作品（科目シラバス【提出準備】に従った体裁） 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は【提出準備】（B）を参照してください。 ※提出期間は2月1日～7日の1回のみです。
再提出物 (一括送付)	再提出の機会なし。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ＞カリキュラム一覧＞該当科目＞「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題名

「ファイナルプレゼンテーション」

●内容

自身の卒業制作の最終成果物を大学生活の集大成として卒業制作展を通じて社会へ向けて発信するためのプレゼンテーションツールにまとめあげます。まず、これまでのプロセスを経て最終的にたどり着いた提案内容を俯瞰し、卒業制作展用作品パネル原稿（①）としてまとめます。この作品パネルは実際の卒業制作展の展示に活用できるものとしてまとめますので、図面や模型、写真やドローイングなどの表現の完成度は勿論のこと、展覧会で初めて作品を鑑賞する人へのプレゼンテーションを意識したデザインを心がけてください。続けて、WEB卒業制作展画面キャプチャ集（②）を作成します。

なお、この課題は卒業制作の作品形態によってまとめ方が異なりますので、制作にあたっては卒業制作スクーリングの中で各自が教員の指導を受けながら進めることになります。

